

Research

Knowledge Organizing System

ReKOS

version 1.3
Manual

目次

はじめに		その他の便利な機能		
01	必要なシステム・動作環境	3	12 複数のライブラリフォルダの参照	50
02	インストール・起動と終了	4	・ライブラリフォルダの参照	50
03	用語解説	6	・ライブラリフォルダへのコンテンツ追加	53
	・コンテンツの構造について	6	13 デジタルデータの添付と表示	54
	・コンテンツの作成と編集について	10	・デジタルデータの添付	54
	・テンプレートについて	11	・デジタルデータの表示	57
	・インターフェイスについて	12	14 プリントアウト	59
04	オブジェクトとして利用できるファイル形式	13	15 フォルダやページの検索	60
プレゼンテーション		サーバー		
05	プレゼンテーションを行う	14		
	・プレゼンテーションの手順	14	16 サーバーのコンテンツを利用する	62
	・板書機能の使い方	17	・サーバーを参照する	62
06	プレゼンテーションを編集する	18	・サーバーからコンテンツをダウンロードする	65
	・フォルダの編集	18	・サーバー参照を削除する	66
	・ページの編集	21	17 サーバーにコンテンツをアップロードする	67
	・名称変更と削除	22		
07	プレゼンテーションを作成する	24		
	・フォルダの作成	24		
	・ページの作成	26		
	・オブジェクトの作成	30		
	・デザイン編集	35		
	・LOM の入力	37		
書き出し・読み込み		お問い合わせ先		
08	コンテンツをパッケージとして書き出す	39	独立行政法人理化学研究所 戒崎計算宇宙物理研究室	
	・フォルダをパッケージとして書き出す	39	株式会社メタ・コーポレーション・ジャパン	
	・パッケージを書き出す	41		
09	コンテンツを HTML に書き出す	43	ReKOS お問い合わせ窓口	
10	コンテンツを LMS 用に書き出す	45	otoiawase@rekos.jp	
11	コンテンツをライブラリに読み込む	47		
	・ライブラリに読み込む	47	ReKOS ウェブサイト	
	・ライブラリフォルダへのコンテンツ追加	49	http://atlas.riken.jp/rekos/	

01 必要なシステム・動作環境

■ OS

下記のいずれかの OS で動作します。(すべて日本語版)

Microsoft® Windows® XP Home Edition

Microsoft® Windows® XP Professional

Microsoft® Windows® 2000 Professional

■ ブラウザ

Microsoft® Internet Explorer 6.0 以上

■ CPU

Intel® Pentium® シリーズまたはその互換 CPU 200MHz 以上

■ 画面解像度と色数

1024 × 768 ピクセル以上 /16bit カラー以上

■ メモリ

ReKOS 用に 64MB 以上の空きメモリが必要

■ ハードディスクの空き容量

ReKOS をインストールするための領域として 300MB 以上の空きが必要

■ CD-ROM が読めるドライブ

CD-ROM で供給された場合のみ、インストール時に使用します。ダウンロードで配布されたもの場合には、CD-ROM ドライブは必要ありません。

■ その他

キーボード、マウス等のポインティングデバイス

※ Microsoft、Windows、Windows NT、Outlook、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※ Intel および Pentium は、米国 Intel Corporation および子会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※ Microsoft Internet Explorer © 1995-2001 Microsoft Corporation について、その著作権者は、明示的、黙示的の如何を問わず何等保証もせず、本ソフトウェアが原因で発生する紛争や損害に関し一切の責任を負わないものとします。

※ その他すべての商標または登録商標は、該当する各社が所有しています。

02 インストール・起動と終了

1 インストーラー [rekos_setup_x.x.exe] をダブルクリックして起動します。
ファイル名の末尾 (_x.x) はバージョンによって変わります。



rekos_setup_1.
3.0.exe

2 画面の指示に従ってインストールします。

※ 既に ReKOS がインストールしてある場合は、プログラム機能の変更、修復、削除ができます。

※ 日本語名（漢字、全角ひらがな、全角カタカナ、全角英数字、半角カタカナ）のフォルダの下にインストールすると ReKOS が正常に動作しません。英語名（半角英数字）のフォルダの下にインストールして下さい。また、ReKOS をインストールするディレクトリは、ReKOS の利用者全員が書き込み権限を持つ必要があります。制限付利用者で Windows にログインして利用する場合は、あらかじめ書き込み制限の無いディレクトリを用意して、そこに ReKOS をインストールしてください。書き込み制限の無いディレクトリについてはコンピュータ管理者にお尋ね下さい。

3 インストールが終了すると、デスクトップ上に ReKOS のショートカットアイコンと ReKOS プレゼンテーションショートカットアイコンが作成されます。その他、マニュアルへのショートカットアイコンも作成されます。



左：ReKOS のショートカットアイコン

右：ReKOS プレゼンテーションのショートカットアイコン

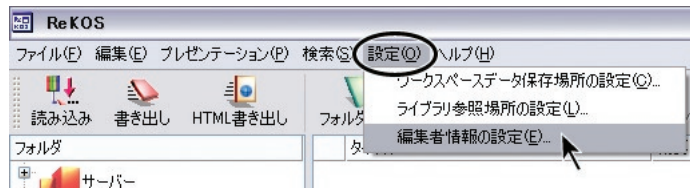
ReKOS ReKOS プレゼン
テーション

4 ReKOS のショートカットアイコンをダブルクリックして起動します。または、スタートメニューから起動することもできます。

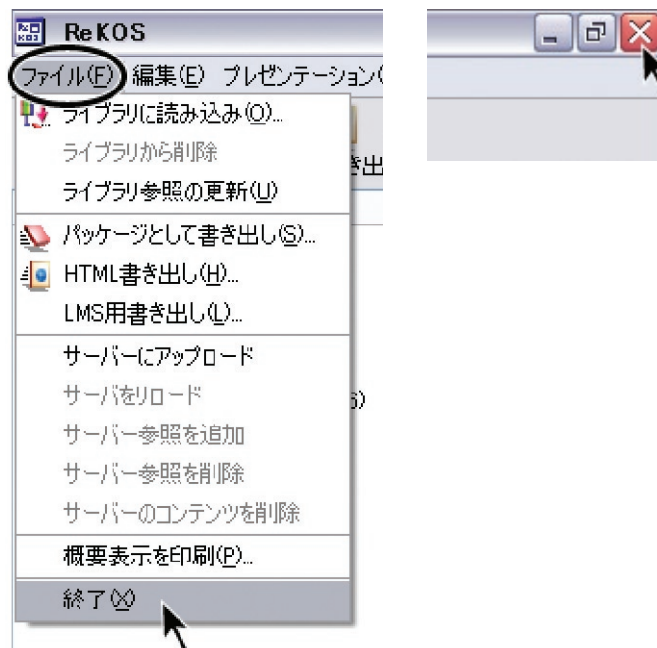


ReKOS

5 [設定] メニューから [編集者情報設定] を選択し、利用者の情報を入力してください。編集者情報はページの作成や編集の際、LOM 情報の [提供] 項目に自動的に追記されますので、複数の方で利用する場合には起動時に必ず確認してください。[追加] をクリックすると、複数の情報を登録することができます。



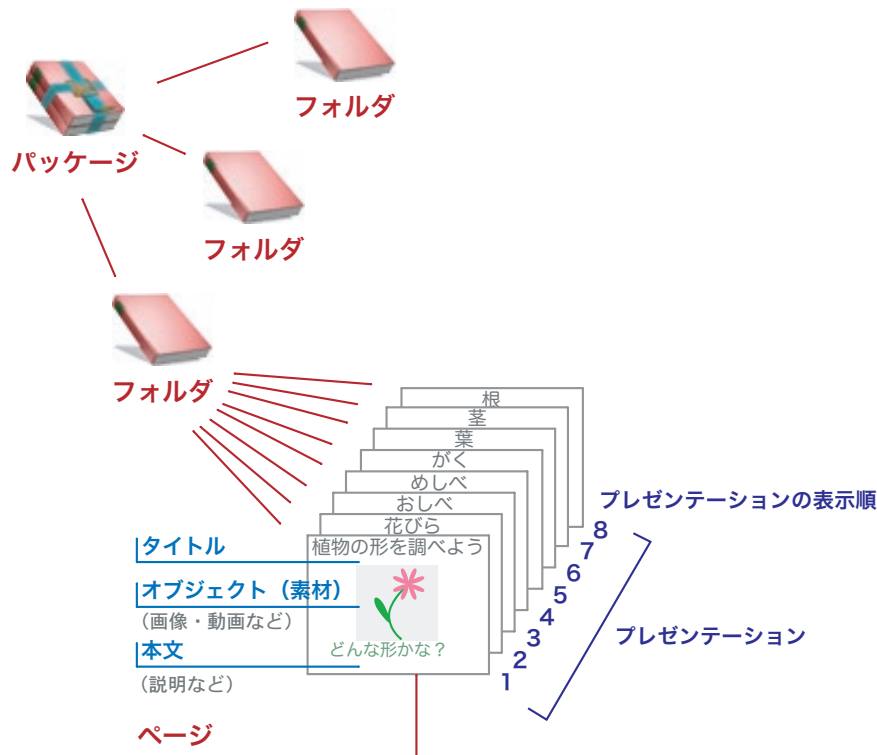
6 [ファイル]メニューから[終了]を選択すると ReKOS が終了します。または、ウィンドウ右上の [X] ボタンを押しても終了します。



03 用語解説

コンテンツの構造について

ReKOS の中で使われる用語をまとめました。まずは実際にプレゼンテーションやコンテンツの編集を体験してみてから、わからない言葉があった時にこの章を参照してみるのもよいでしょう。



■ ページ

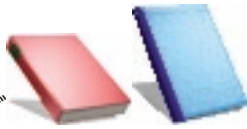
タイトル、本文や、画像や動画など (オブジェクト) を含み、プレゼンテーションにおいて 1 画面に表示される単位のことです。ReKOS でのプレゼンテーションとは、スライドをめくっていくように用意したページを順番に表示していくことです。また ReKOS のコンテンツは、フォルダによって整理されたたくさんのページが集まったものと考えられます。ユーザは既存のページを並べ替えたり、内容を編集したり、テンプレートに従って新たなページを作成したりすることが出来ます。ReKOS のページは HTML 形式で表現されており、実際には 1 つの HTML ファイルを意味します。

※ SCORM の用語では「SCO」に相当します。

■ オブジェクト

ページ内に表示される画像や動画、インタラクティブメディアのことです。ひとつのページ内には、複数のオブジェクトが含まれる場合もあれば、タイトルだけのページでオブジェクトが含まれない場合もあります。実際には、ページの HTML ファイルから参照されている外部ファイルを意味します。

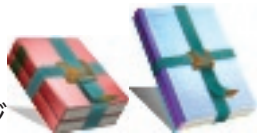
※ SCORM の用語では「アセット」に相当します。



■フォルダ

複数のページや他のフォルダを含むことのできる入れ物のことです。パソコンで扱っているファイルシステムに対応させて考えると、「ページ」が「ファイル」、「フォルダ」が「フォルダ」や「ディレクトリ」に対応します。ReKOSの「フォルダ」は、中のページやフォルダの並び順についての情報も持っており、プレゼンテーションで表示する順番に並べて整理しておくことができます。フォルダの中にさらにフォルダを組み込む(入れ子にする)こともできます。

※ SCORM の用語では「ブロック」や「コンテンツアグリゲーション」に相当します。



■パッケージ

ReKOS からファイルとして書き出したり、ファイルから ReKOS に読み込む単位です。

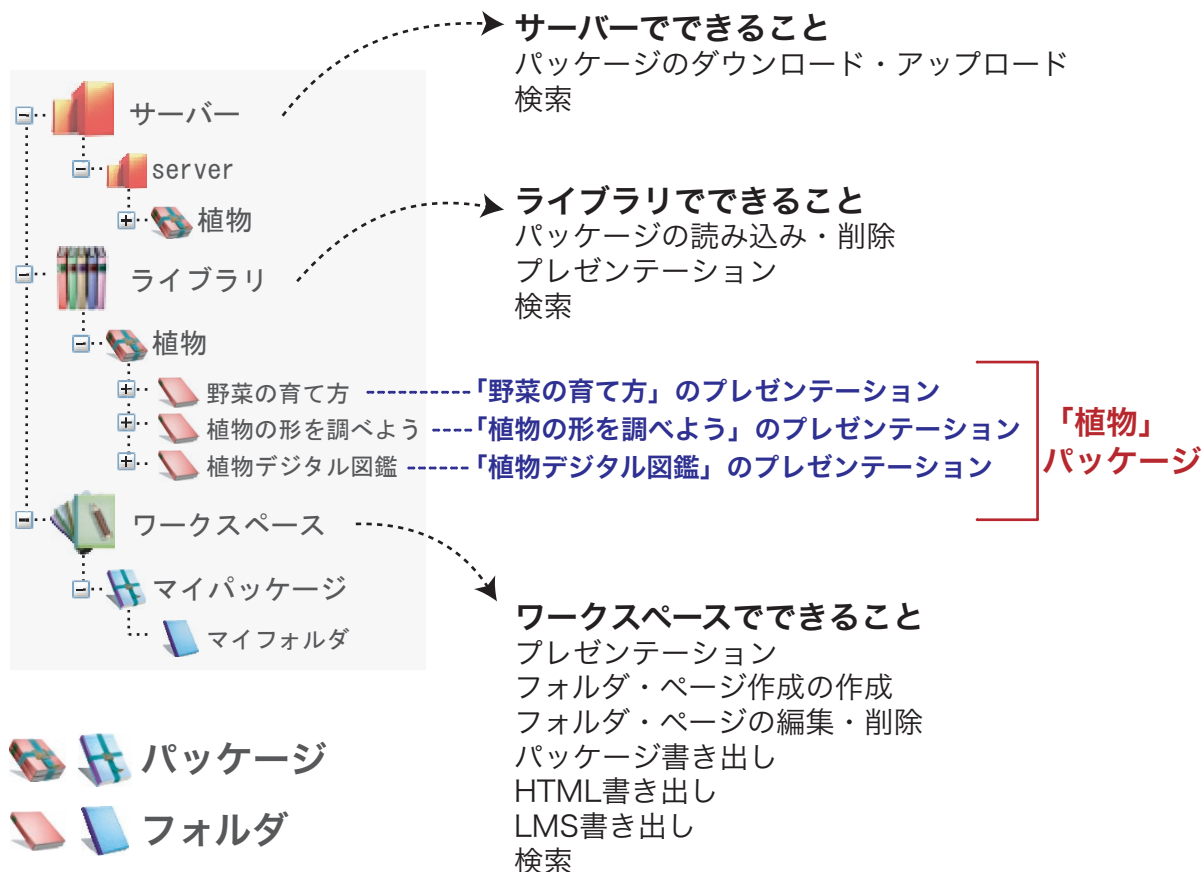
※ SCORM の用語では「コンテンツアグリゲーション」に相当します。

■プレゼンテーション

ReKOS では、フォルダに含まれるページを順番に表示していくことでプレゼンテーションを行います。フォルダ内部には並び順の情報があり、これがプレゼンテーションの表示順になります。フォルダ内にフォルダが入れ子になっていると、入れ子フォルダ内のページは再生されません。

■ LOM 情報

LOM は、Learning Object Metadata の略であり IEEE LTSC(電気・電子技術者協会 教育・学習技術委員会)や IMS の規格として定められています。LOM は、その名の通り学習資源をオブジェクトとしてとらえ、そのオブジェクトに対するメタデータの付与の方法を定めた規格です。ReKOS で扱うページやオブジェクトには、それぞれの名前や内容についての説明、作成者などの情報を含む LOM 情報が付加されています。これによって、コンテンツの数が非常に多くなっても、LOM 情報に登録された内容やキーワードから目的のページやオブジェクトを検索することができます。またコンテンツの編集を行った後も、オリジナルのコンテンツの作成者やその後の変更を加えた編集者の情報が保持されることで、常に著作権情報も維持されるようになっています。LOM 情報の設定は、ページの作成や編集の際に行うことができます。コンテンツの再利用性を高めるためにも、きちんと LOM 情報を入力することをお勧めします。



■ライブラリ

ReKOS では、既製品として提供されたコンテンツと、自分で作成したり編集したコンテンツを置いておく場所をはっきりと分けています。既製品や外部から読み込まれたコンテンツを置いておく場所をライブラリと呼びます。この中に置かれたコンテンツは、自由に利用することができますが、フォルダやページの編集を行うことができません。これは、既に出来上がったコンテンツを利用している際に、間違っって内容を書き換えたり削除してしまったりすることを避けるためです。ライブラリへのコンテンツの読み込み・削除はパッケージ単位で行われます。利用者が自分で作成したコンテンツについても、パッケージとして書き出してからライブラリに読み込むことにより、ライブラリに登録することができます。

■ワークスペース

ReKOS では、既製品として提供されたコンテンツと、自分で作成したり編集したコンテンツを置いておく場所をはっきりと分けています。自分で作成や編集を行ったページやフォルダを置いておく場所をワークスペースと呼びます。既製品のコンテンツを一部編集して利用したい場合は、ライブラリからコンテンツの必要な部分をワークスペースに持ってきて(コピーして)、その上で編集を行います。ワークスペース内のコンテンツもプレゼンテーションに利用できます。また自分で作成・編集を行ったコンテンツを ReKOS から書き出して他の ReKOS ユーザーに配布したり、それをライブラリに読み込んで利用することもできます。

■ サーバー

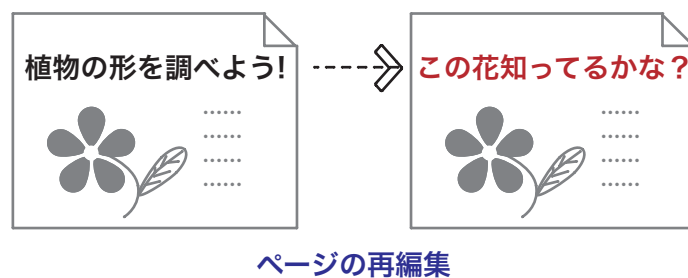
複数の利用者でコンテンツを共同利用するためには、ネットワークで接続されたコンピュータにコンテンツを保管しておき、必要に応じて取り出せるようにしておくが便利だ。そのような目的で用意された共有コンピュータをサーバーと呼びます。ReKOSでは、ライブラリに登録されたコンテンツと同様の操作で、サーバーにあるコンテンツをダウンロードして利用することができます。また、自分で作成したコンテンツを、サーバーにアップロードして保管しておくことができます。ReKOSで利用できるサーバーは、ReKOS用に開発された専用サーバーです。

コンテンツの作成と編集について

既製品のコンテンツは内容も良く練られ、すっきりと整理された構造になっているものが多いでしょう。しかし実際にプレゼンテーションを行う際には、その中の一部のページのみが必要だったり、違う流れで話を進めたい場合もあります。そのため ReKOS は、利用者独自の授業案やシナリオに沿ったプレゼンテーションをすることができるよう、既存のコンテンツの内容を編集することができる機能を備えています。また、新しいフォルダやページを作成・追加することで、オリジナルコンテンツを作成することもできます。



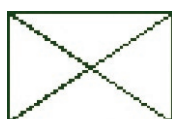
ReKOS では、既製品のコンテンツ、自作コンテンツに関わらず、ワークスペース内のフォルダやページを、並べ替え・削除・挿入・新規作成・追加することができます。ReKOS 対応コンテンツはあらかじめ統一されたレイアウトで作成されています。そのため、既製品のコンテンツと自作コンテンツを混在させても違和感がありません。また、ページは再編集して内容を変更することもできます。



ページの再編集

テンプレートについて

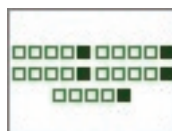
テンプレートとは、ページ内のタイトルや本文、オブジェクトの数やレイアウトを決めた「ひな形」のことです。ReKOSではあらかじめいくつかのテンプレートを用意しており、多くのコンテンツはこれらのテンプレートに従った画面レイアウトになっています。そのため、複数のコンテンツを混ぜても違和感がありません。ユーザは統一されたレイアウトのもとで様々なコンテンツを利用でき、またコンテンツ開発者は、レイアウト設計に時間をかけることなく内容の制作に専念できます。



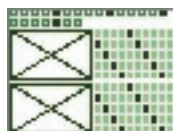
■レイアウト 1
オブジェクトのみのレイアウト



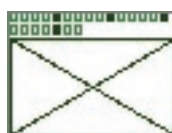
■レイアウト 7
タイトルと本文



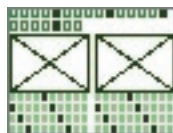
■レイアウト 2
タイトルのみのレイアウト



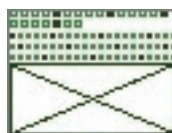
■レイアウト 8
タイトルと 2 つの本文と 2 つの
オブジェクト



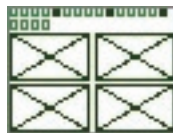
■レイアウト 3
タイトルとオブジェクト



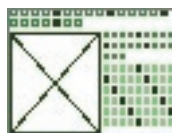
■レイアウト 9
タイトルと 2 つの本文と 2 つの
オブジェクト



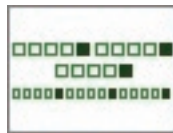
■レイアウト 4
タイトルと本文とオブジェクト



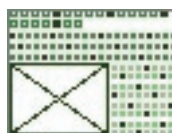
■レイアウト 10
タイトルと 4 つのオブジェクト



■レイアウト 5
タイトルと 2 つの本文と 1 つの
オブジェクト

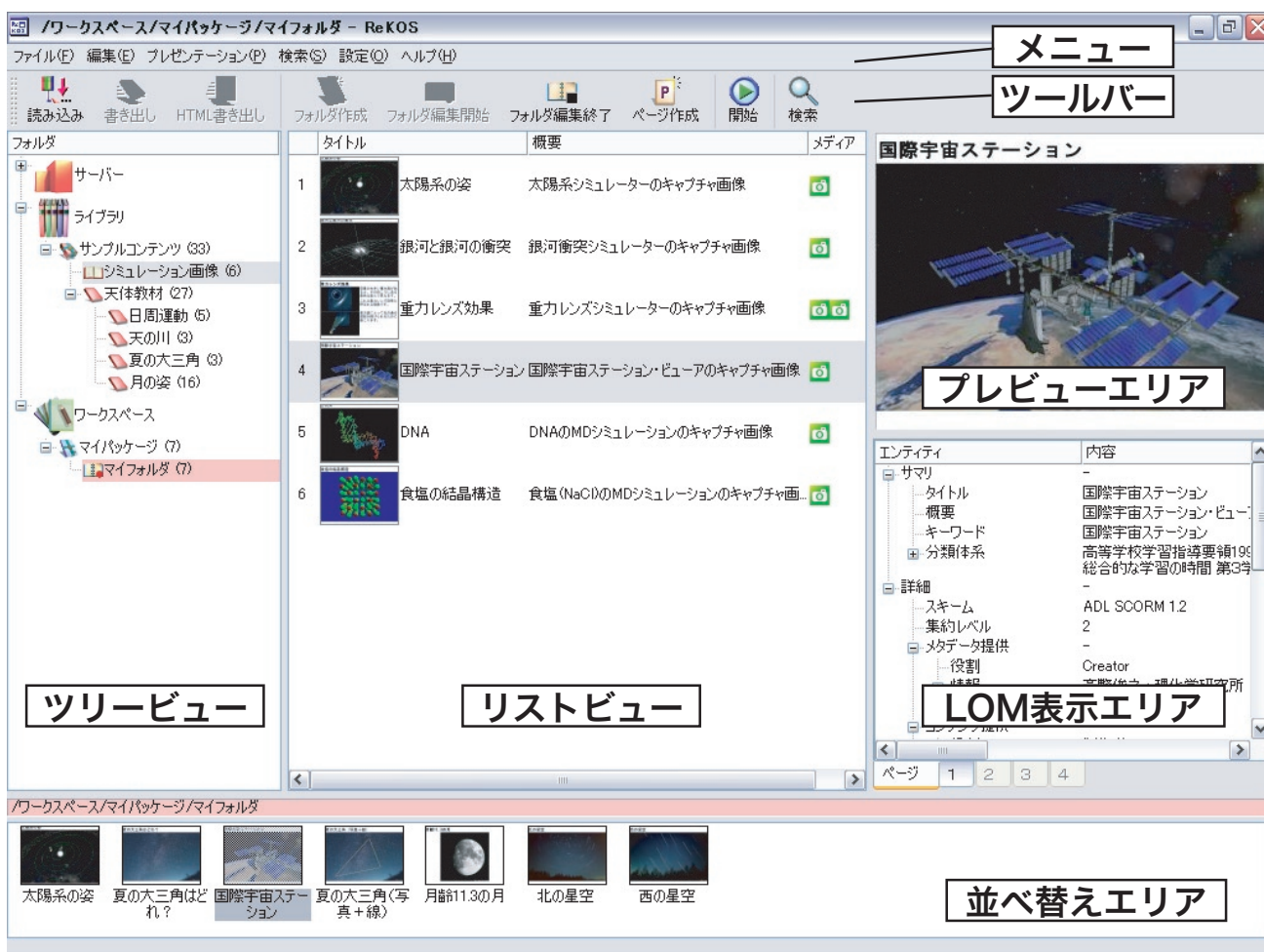


■レイアウト 11
タイトルと本文



■レイアウト 6
タイトルと 2 つの本文と 1 つの
オブジェクト

インターフェイスについて



■ ツリービュー

ReKOS に読み込まれているコンテンツの構造をツリー状に表示します。

■ リストビュー

ツリービューで選択された、パッケージやフォルダ内のページやフォルダを一覧表示します。タイトル、概要、ページに含まれているメディアの種類などが表示されます。

メディアの種類



静止画 動画 その他

■ プレビューエリア

リストビューで選択されたページの内容をプレビュー表示します。

■ LOM 表示エリア

リストビューで選択されたページの LOM 情報を表示します。

■ 並び替えエリア

ワークスペース内の編集時のフォルダの内容を表示します。この中でページやフォルダの追加、削除、並び替え、編集、ページの新規作成などを行うことができます。

04 オブジェクトとして利用できるファイル形式

■ 静止画

- ・ JPEG (.jpg .jpeg)
- ・ PNG (.png)
- ・ BMP (.bmp)
- ・ GIF (.gif)
- ・ BMP (.bmp)

■ 動画

- ・ Windows® Media (.avi .mpg .mpeg .wmv .asf) ※ 1
- ・ QuickTime™ (.mov .mp4) ※ 2

■ インタラクティブメディア

- ・ Shockwave® (.dcr) ※ 3
- ・ Flash™ (.swf) ※ 4

■ 音声

- ・ Windows® Media (.mp3 .wav .wma) ※ 5

■ その他

- ・ HTML ページ (URL、.html、.htm)
- ・ Microsoft® Word® (.doc) ※ 6
- ・ Microsoft® Excel® (.xls) ※ 7
- ・ Microsoft® PowerPoint® (.ppt) ※ 8
- ・ PDF (.pdf) ※ 9

オブジェクトによっては、プラグインや OS のバージョン、その他、利用するコンピュータの動作環境に依存するものがありますので、プレゼンテーションの前に動作を確認することをお勧めします。ここではコンピュータの動作環境が整っていることを前提に ReKOS で利用できるファイル形式を示しています。

※ 1 Windows® Media Player のインストールが必要です。

※ 2 QuickTime™ Player のインストールが必要です。

※ 3 Macromedia® Shockwave® Player のインストールが必要です。

※ 4 Macromedia® Flash™ Player のインストールが必要です。

※ 5 Windows® Media Player のインストールが必要です。

※ 6 : Microsoft® Word® のインストールが必要です。

※ 7 : Microsoft® Excel® のインストールが必要です。

※ 8 : Microsoft® PowerPoint® のインストールが必要です。

※ 9 : Adobe Acrobat® Reader または Adobe® Reader™ のインストールが必要です。

※ Windows® Media Player、Microsoft® Word®、Microsoft® Excel®、Microsoft® PowerPoint® は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

※ QuickTime™ Player は、Apple Computer, Inc. の米国およびその他の国々で登録された商標です。

※ Macromedia Shockwave® Player、Macromedia Flash™ Player は、Macromedia, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。



※ Adobe Acrobat® Reader、Adobe® Reader™ は、Adobe Systems Inc. の商標です。

※ その他すべての商標または登録商標は、該当する各社が所有しています。

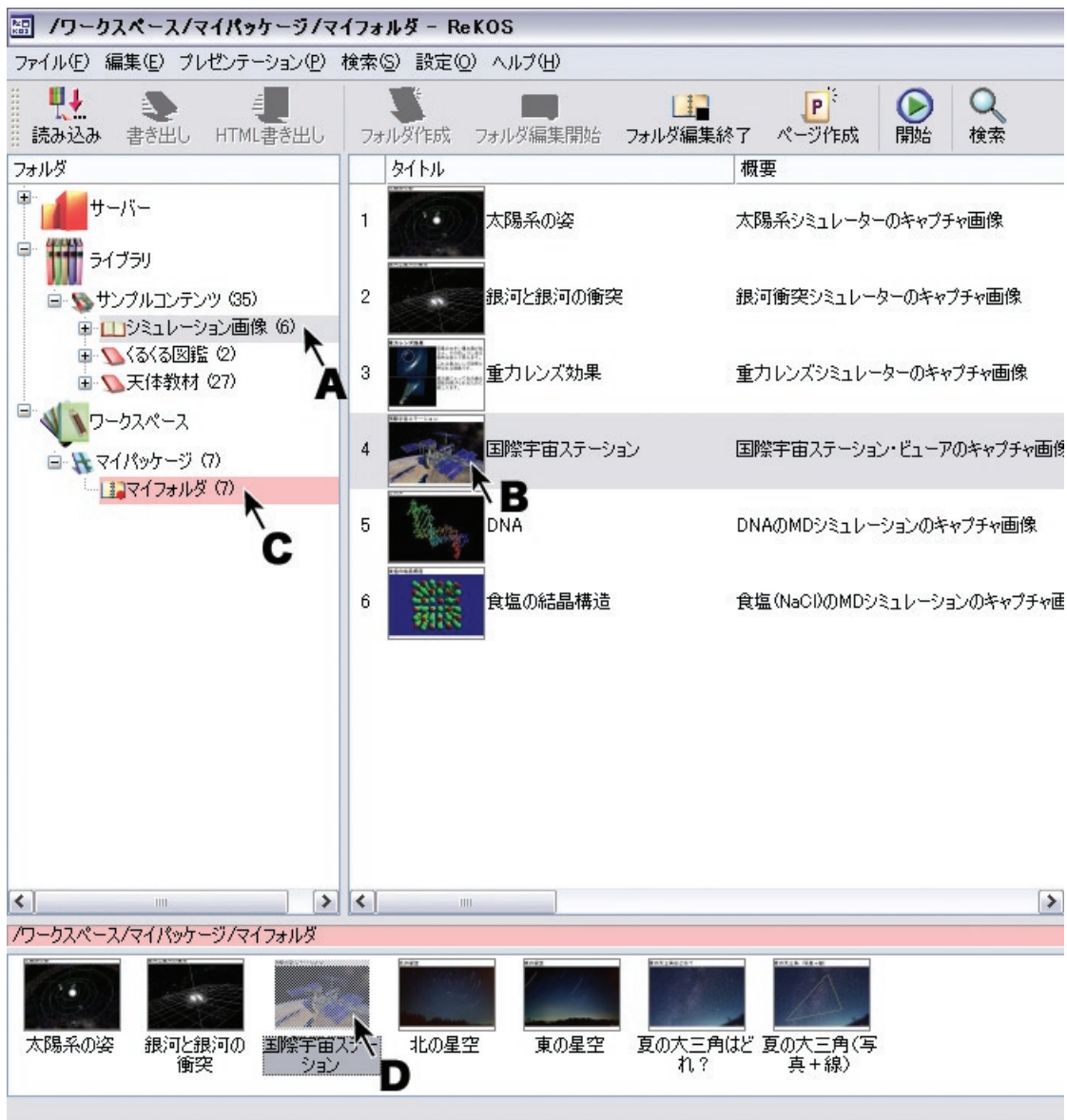
05 プレゼンテーションを行う

プレゼンテーションの手順

ReKOS でコンテンツをプレゼンテーションする方法について説明します。ReKOS では、指定したフォルダに含まれるページを順番に表示していくことでプレゼンテーションを行います。


1 ツリービューでパッケージやフォルダ名をクリックして選択すると、そのパッケージやフォルダに含まれるページやフォルダがリストビューに一覧表示されます。リストビューに内容が表示されているフォルダのアイコンは、開いたアイコンになります。

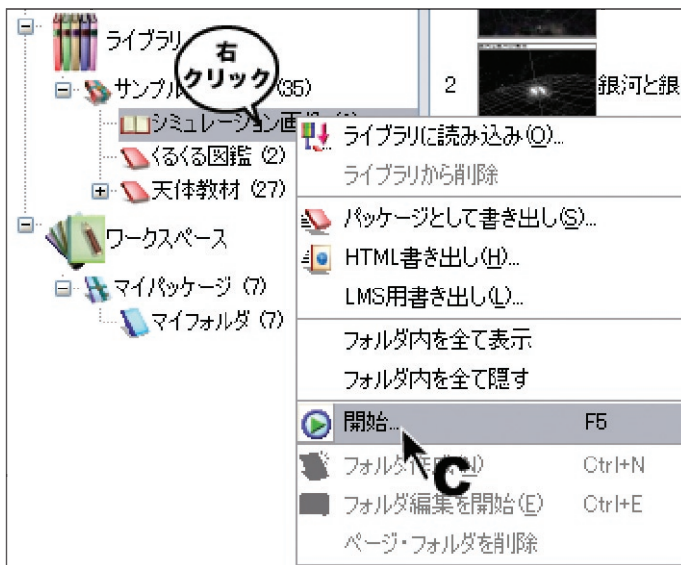
プレゼンテーションを行いたいページやフォルダを、ツリービュー **【A】** やリストビュー **【B】** でクリックして選択します。フォルダを選択するとそのフォルダ内の 1 ページ目から、ページを選択するとそのページからプレゼンテーションを開始できます。編集集中のフォルダ **【C】** や、並べ替えエリアのページやフォルダ **【D】** もプレゼンテーションを行うことができます。



※ ライブラリやワークスペース内のパッケージを選択している状態では、プレゼンテーションを開始できません。フォルダやページを選択してから、プレゼンテーションを開始して下さい。

※ サーバー内のフォルダやページを、そのまま選択してプレゼンテーションを開始することはできません。ワークスペース内にダウンロードしてからプレゼンテーションに利用して下さい。

2 ツールバー【A】の [開始] ボタンをクリックするとプレゼンテーションが開始されます。キーボードの [F5] キーでも同様に開始できます。また、[プレゼンテーション] メニュー【B】や、右クリックすると表示されるメニュー【C】【D】から [開始...] を選択して開始することもできます。



ReKOS 対応コンテンツは、横 1024 ピクセル、縦 768 ピクセルの画面サイズが適しています。画面サイズが異なる場合はメッセージが表示されますので、[OK] を選択して画面サイズを推奨サイズに変更して下さい。

3 プレゼンテーションが開始されたら、画面右下の [目次] [← (前のページ)] [→ (次のページ)] [板書] のボタンを利用してプレゼンテーションを行います。



また、キーボードから以下のキーで操作することもできます。

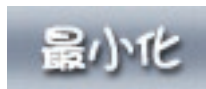
次のページ：[N] [→] [↓] [スペース]

前のページ：[P] [←] [↑]

目次：[M]

板書：[T]

4 プレゼンテーションの途中で、一時的に ReKOS を最小化して他のアプリケーションの操作を行いたい場合は、画面左下の [最小化] を選択します。




最小化された ReKOS を元のサイズにもどすには、タスクバーに最小化表示されている ReKOS のアプリケーションアイコンをクリックします。



5 プレゼンテーションを終了するには、画面左下の [終了] を選択します。

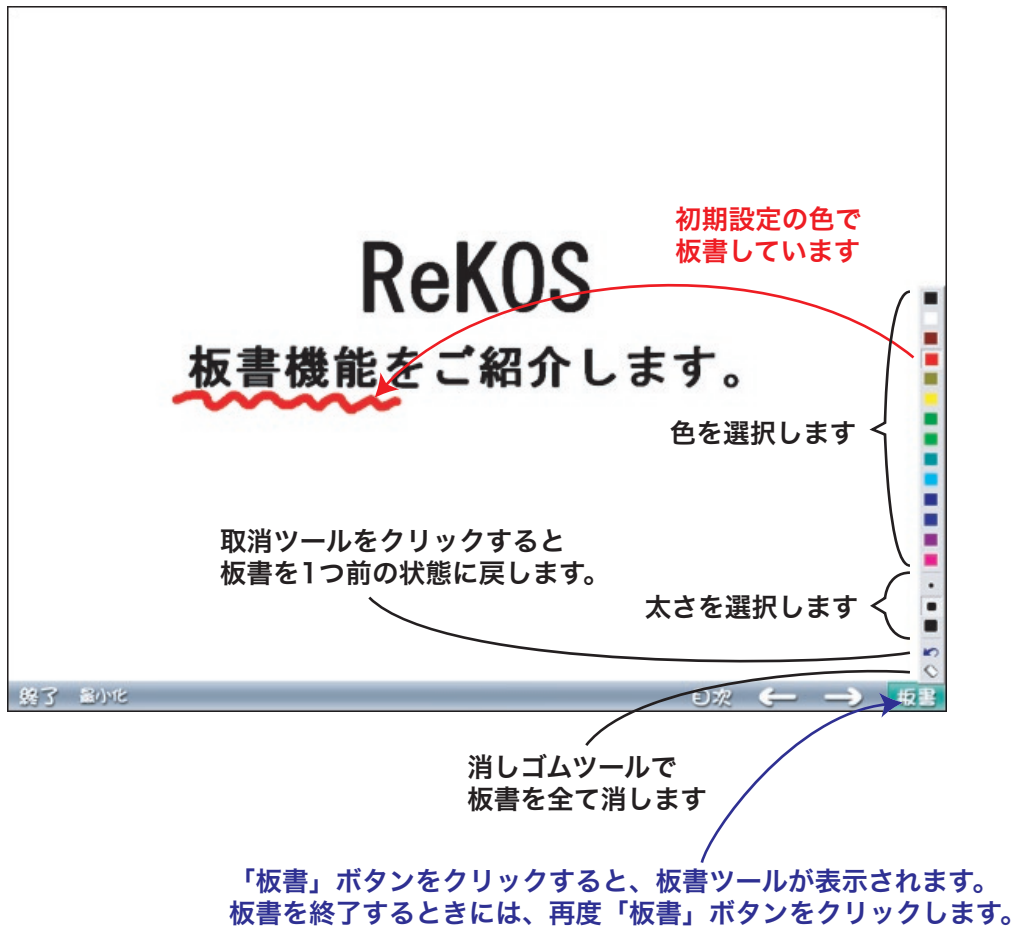


また、キーボードの [Esc] キーまたは [Q] キーを押しても終了できます。

 デスクトップ上の ReKOS プレゼンテーションショートカットアイコンをダブルクリックすると、ReKOS を起動していないときでも、前回行ったプレゼンテーションを開始することができます。

板書機能の使い方

板書機能は、表示している画面にマークを付けたり、手書きで文字や記号を記入したりするための機能です。ページの上に透明な板を一時的に作成してその上に書き込むため、ページデータそのものは変更されません。



- 1** 板書をする時には、プレゼンテーション中に画面右下の [板書] ボタンをクリックします。
- 2** 板書ツールが表示されるので、色やペンの太さなどを選択して板書を行います。
- 3** 板書機能を終了する時には、再度 [板書] ボタンをクリックします。

※ 板書機能を使っているときは、ページを変えることができません。ページを変える際は、再度 [板書] ボタンをクリックして板書機能を終了させて下さい。

※ 記入した内容は1回のプレゼンテーションの間だけ有効で、保存されません。ただし、1回のプレゼンテーションの間であれば、ページを変更しても、もう一度戻って [板書] ボタンをクリックすることで、記入した板書を再度表示することができます。

06 プレゼンテーションを編集する


フォルダの編集

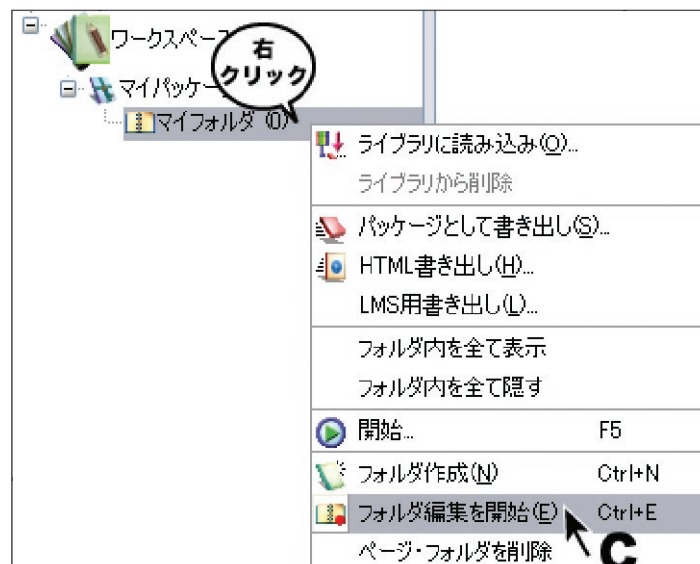
ワークスペース内にあるプレゼンテーションは、フォルダごと、あるいはページごとに編集することができます。ライブラリ内のコンテンツも、ワークスペースに持ってくる（コピーする）ことで自由に編集することができます。

1 ツリービューでワークスペース内の編集したいフォルダを選択します。初期設定では、ワークスペース内に「マイフォルダ」という空のフォルダが作成されています。

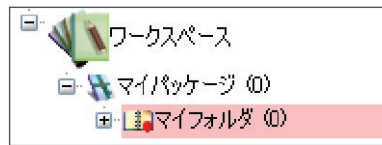


※ 編集可能なのは、ワークスペース内のフォルダです。パッケージを編集することはできません。また、サーバーやライブラリ内のコンテンツも編集することはできません。ただし、サーバーやライブラリ内のコンテンツは、ワークスペースのフォルダ内にコピーすることで編集することができますようになります。コピー方法については後述の「ページやフォルダを挿入（コピー）する」の項目をご覧ください。

2 ツールバー【A】の[フォルダ編集開始]ボタンをクリックすると、フォルダが編集状態となります。[編集]メニュー【B】や、フォルダを右クリックすると表示されるメニュー【C】から[フォルダ編集を開始]を選択して編集状態にすることもできます。



3 編集中のフォルダはアイコンに赤い丸が表示されます。



編集中のフォルダの内容は、プレゼンテーションの順番に並んで並べ替えエリアに表示されます。また、ReKOS のタイトルバーや並べ替えエリアの上部に編集中のフォルダ名が表示されます。編集中のフォルダ内では、以下の操作が可能です。

■ ページやフォルダを挿入（コピー）する

サーバー、ライブラリ、ワークスペースにある既存のページやフォルダを、リストビューから並べ替えエリアの任意の位置にドラッグ&ドロップして編集中のフォルダ内に挿入（コピー）することができます。ページやフォルダはドラッグ&ドロップするだけで自動的にコピーされ、元のページやフォルダが移動することはありません。ただし、編集中のフォルダ内のページやフォルダを編集中のフォルダ自体の中にコピーすることはできません。また、パッケージをコピーすることもできません。

■ ページやフォルダの順序を入れ替える

並べ替えエリアに表示されたページやフォルダのアイコンをエリア内の任意の位置にドラッグ&ドロップすることで、ページやフォルダの順序を入れ替えることができます。

■ ページを作成・編集する

新しいページを作成して編集中のフォルダに追加したり、フォルダ内の既存のページの内容を編集することができます。詳しくは後述の「ページの作成」、「ページの編集」の項目をご覧ください。

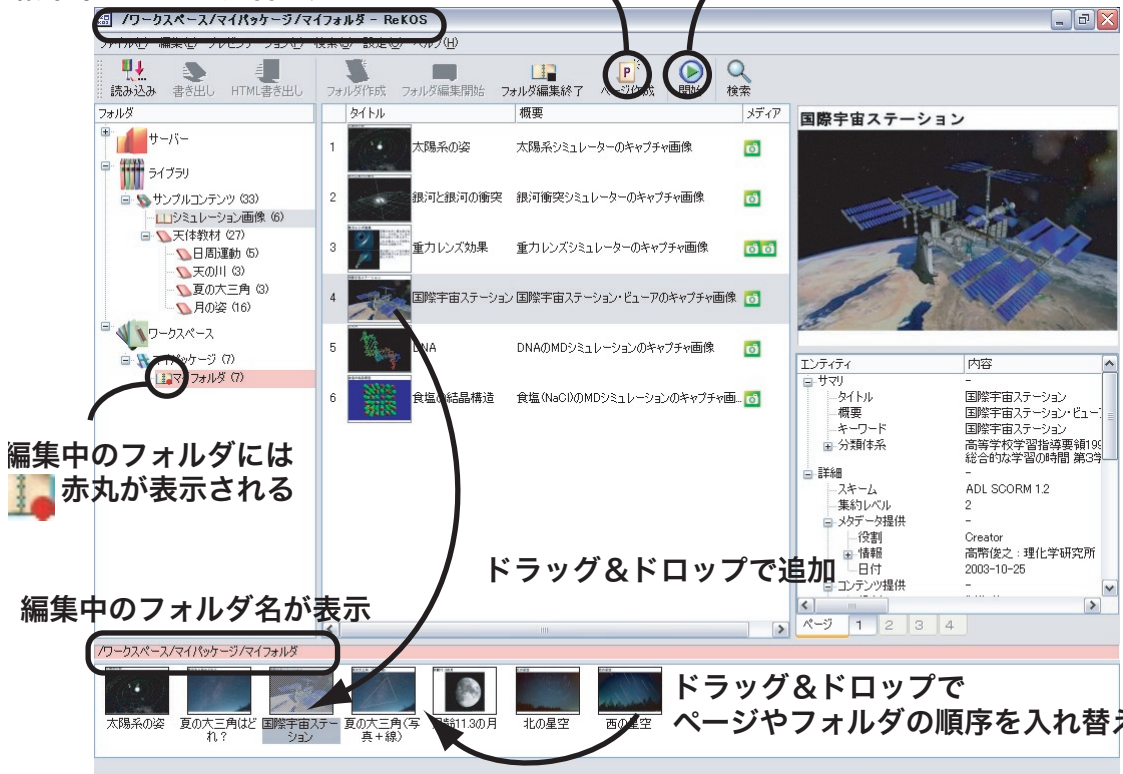
■ プレゼンテーションを行う

編集中のフォルダ内のページやフォルダも、並べ替えエリアやリストビュー、あるいはツリービューで選択してプレゼンテーションを行うことができます。


■ ページやフォルダを削除する

ページやフォルダを削除することができます。詳しくは後述の「ページやフォルダの削除」の項目をご覧ください。

編集中のフォルダ名が表示
 ページ作成ボタン
 編集中のフォルダ内のページやフォルダもプレゼンテーション可能



左からプレゼンテーションの順番に並んで表示

4 フォルダの編集を終了するには、ツールバーの [フォルダ編集終了] ボタン  をクリックします。



ページの編集

1 ページを編集するには、フォルダの編集集中に並べ替えエリアに表示されたページのアイコンを選択し、[編集]メニュー【A】から[ページ編集]を選択します。または、右クリックすると表示されるメニュー【B】で[ページ編集]を選択します。



2 ページ作成ウィザードに入ります。ここでページの作成時と同様に、編集ができます。詳しくは後述の「ページの作成」の項目をご覧ください。

3 編集が終わると編集の履歴が LOM 情報として追加され、[設定]メニューの[編集者情報設定]に設定されている内容が、LOM の詳細の[提供]項目に追加されます。

名称変更と削除

■ ページ名やフォルダ名の変更

ワークスペース内のフォルダ名を再設定するには、ツリービュー内でフォルダをゆっくりと2回クリックします。フォルダ名が変更可能な状態になるので、そこで再度フォルダ名を設定します。または、名前を変更したいフォルダを選択してからキーボードの [F2] キーを押しても、フォルダ名が変更可能な状態になります。

ページ名は、ページの LOM 情報の [タイトル] の設定から自動的に付けられます。ページ名を変更したい場合はページの編集を行い、LOM 用タイトルを変更して下さい。

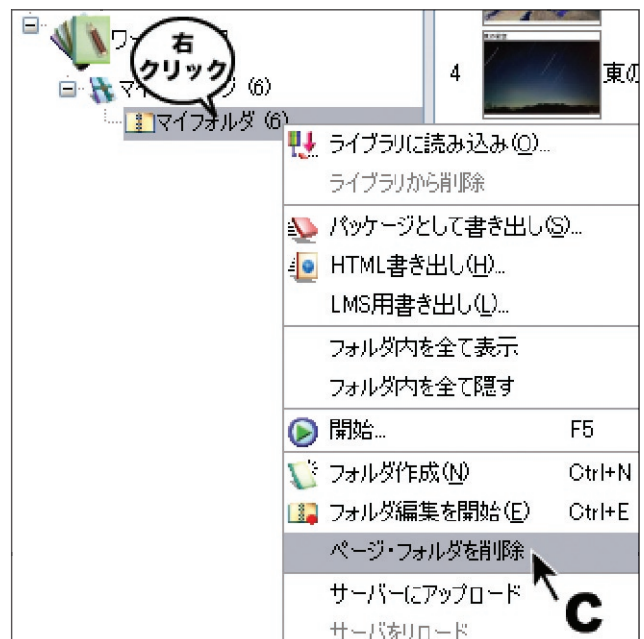
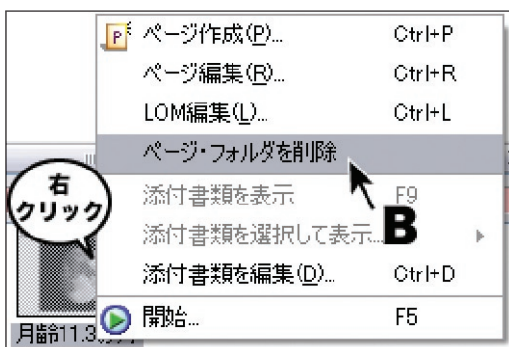
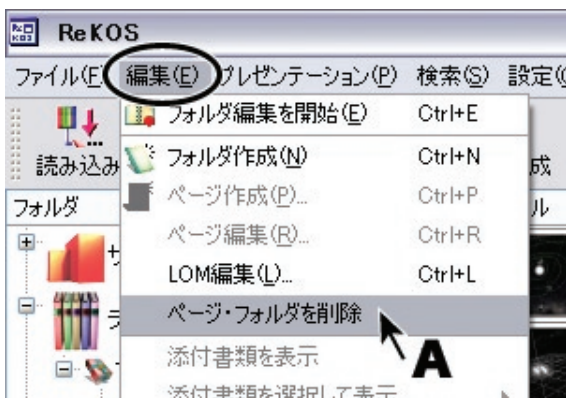
※ ライブラリやサーバー内のフォルダやページ名は変更できません。

■ ページやフォルダの削除

フォルダの編集集中に、並べ替えエリアに表示されたフォルダやページのアイコンを選択し、キーボードの [Delete] キーを押すと削除できます。[編集]メニュー【A】や、右クリックすると表示されるメニュー【B】から [ページ・フォルダ削除] を選択しても削除できます。

フォルダは、フォルダの編集集中でなくともツリービュー内でフォルダを選択し、キーボードの [Delete] キーを押すと削除できます。[編集]メニュー【A】や、右クリックすると表示されるメニュー【C】から [ページ・フォルダ削除] を選択しても削除できます。

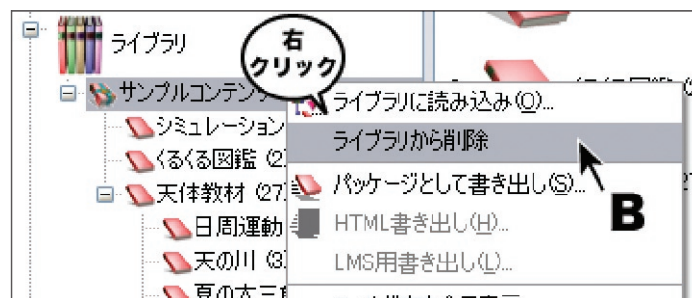
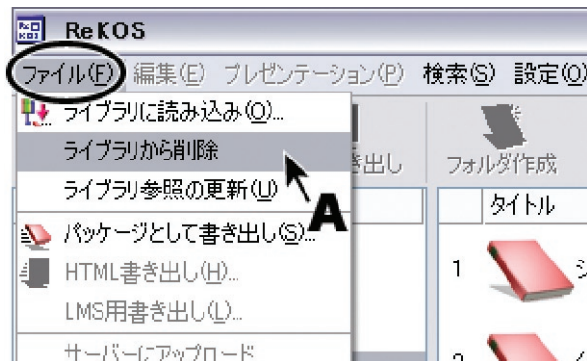
ページやフォルダを削除する際には確認を求めるダイアログボックスが表示されるので、[OK] を選択して削除します。



※ ライブラリ内のページやフォルダは削除することができません。ライブラリ内のコンテンツを削除するには、パッケージ単位で削除します。

■パッケージの削除

ライブラリ内のパッケージを削除するには、ツリービュー内でパッケージを選択し、キーボードの [Delete] キーを押します。[ファイル] メニューや、右クリックすると表示されるメニューから [ライブラリから削除] を選択しても削除できます。パッケージを削除する際には確認を求めらるダイアログボックスが表示されるので、[OK] を選択して削除します。



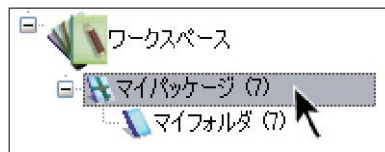
※ ワークスペース内のパッケージは削除することができません。

07 プレゼンテーションを作成する


フォルダの作成

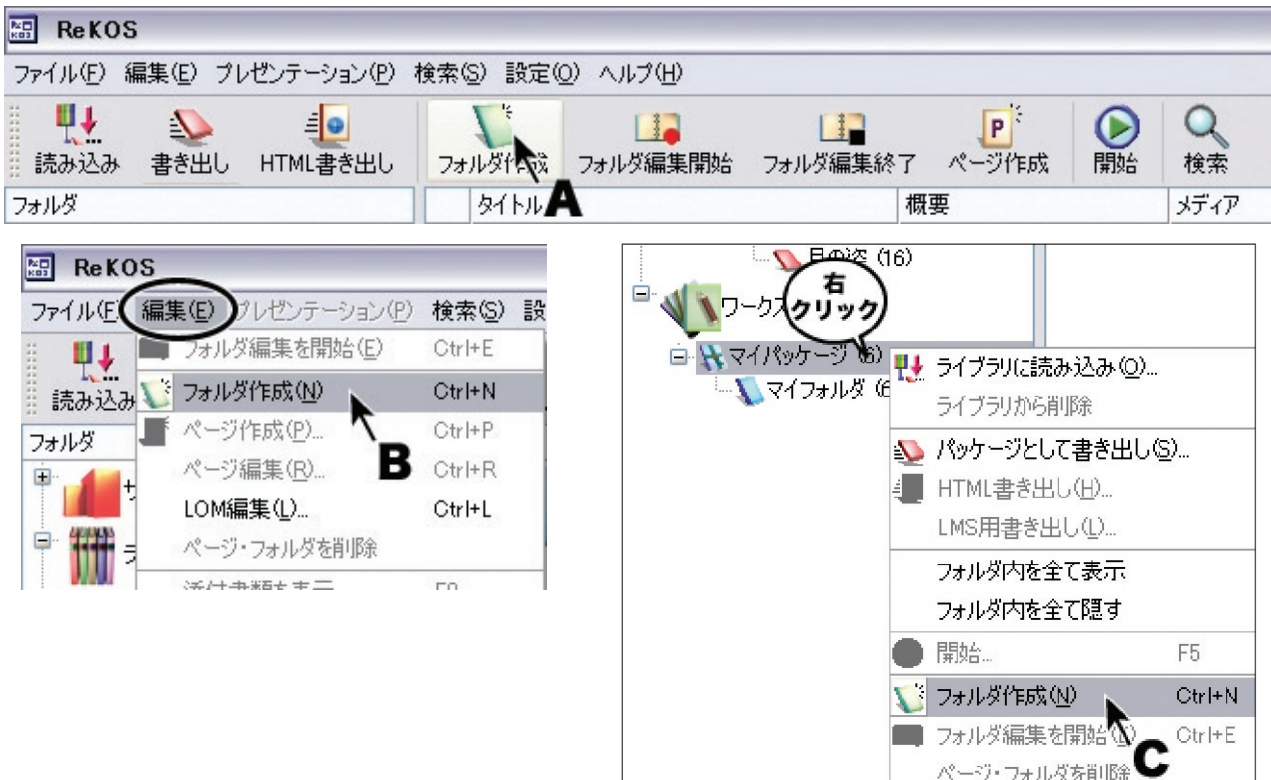
ワークスペースの [マイパッケージ] には、新しくフォルダを作成することができます。フォルダを作成することでコンテンツの整理を行うことができます。

1 ツリービューの [マイパッケージ] または、その中のフォルダを選択します。



※ ワークスペース直下に新しいフォルダやパッケージを作成することはできません。新しいフォルダはマイパッケージより下に作成して下さい。

2 ツールバー **[A]** の [フォルダ作成] ボタン  をクリックすると、選択したフォルダの下に [名称未設定] フォルダが追加されます。[編集] メニュー **[B]** や、[マイパッケージ] やフォルダを右クリックすると表示されるメニュー **[C]** から [フォルダ作成] を選択して新しいフォルダを作成することもできます。



3 新しく作成された [名称未設定] フォルダは名前が変更可能な状態になっているので、そのままフォルダ名を設定することができます。

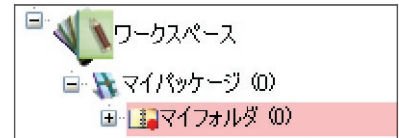



4 フォルダ名を再設定するには、ツリービュー内でフォルダをゆっくりと2回クリックします。フォルダ名が変更可能な状態になるので、そこで再度フォルダ名を設定します。または、名前を変更したいフォルダを選択してからキーボードの [F2] キーを押しても、フォルダ名が変更可能な状態になります。

ページの作成

ワークスペースの [マイパッケージ] にあるフォルダ内には、新しくページを作成することができます。テンプレートに従って各項目を入力してだけで、簡単に再編集可能なページが作成できます。

1 作成したページを入れるフォルダを編集状態にします。フォルダを編集状態にする方法については前述の「フォルダの編集」項目をご覧ください。



2 ツールバー [A] の [ページ作成] ボタン  をクリックすると [ページ作成ウィザード] が開きます。[編集] メニュー [B] や、並べ替えエリアで右クリックすると表示されるメニュー [C] から [ページ作成] を選択しても [ページ作成ウィザード] が開きます。



3 テンプレートを選択します。テンプレートについての詳細は前述の「テンプレートについて」の項目をご覧ください。テンプレートは何度でも変更することができます。テンプレートを変更すると、設定したタイトル、本文、画像はテンプレートに沿って再配置されます。



4 ページの内容を作成します。右上のタブから設定項目を選択し、その下の入力欄に入力します。

■タイトル

1 行のタイトル文字列を入力します。改行や HTML タグを使った文字装飾を行うことはできません。



■本文

複数行の文章を入力することができます。改行や HTML タグを使った文字装飾を行うこともで

きます。



■オブジェクト

画像やムービーなど表示したいメディアのファイルパスか URL を入力します。参照ボタン [...] をクリックして、ファイルを選択することもできます。また、入力エリアにファイルをドラッグ & ドロップしてもファイルパスを設定できます。静止画以外のオブジェクトでは、プレビュー表示に使用される代替画像のファイルパスも入力する必要があります。オブジェクトについてより細かく設定を行うには、[詳細設定] ボタンをクリックして [オブジェクト作成ウィザード] を開きます。詳細については後述の「オブジェクトの作成」の項目をご覧ください。



■プレビュー

[プレビュー更新] ボタンをクリックすると、プレビューが表示されます。



■デザイン編集

[デザイン編集...] ボタンをクリックすると実際にプレゼンテーションで表示される画面イメージを見ながらページを作成することができます。詳細については後述の「デザイン編集」の項目をご覧ください。

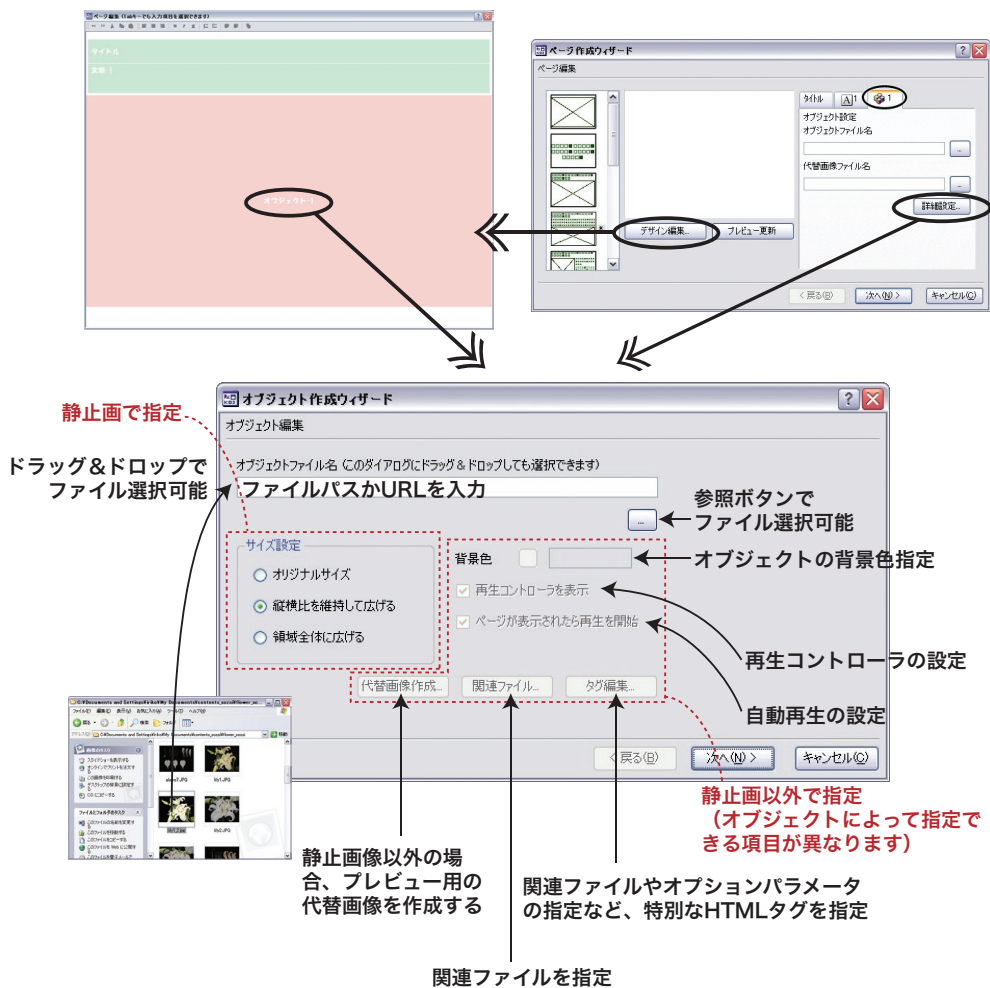
5 ページ内容について全ての入力が終わったら、[次へ] ボタンをクリックします。

6 [ページ情報 (LOM) 入力] で LOM 情報を入力します。ここで入力した内容は、リストビューでの表示や、キーワード等によるページ検索に使用されます。再利用性を高めるためにも、できるだけ適切に入力することをお勧めします。詳細については後述の「LOM の入力」の項目をご覧ください。

7 [完了] ボタンをクリックして、ページの作成を終了します。

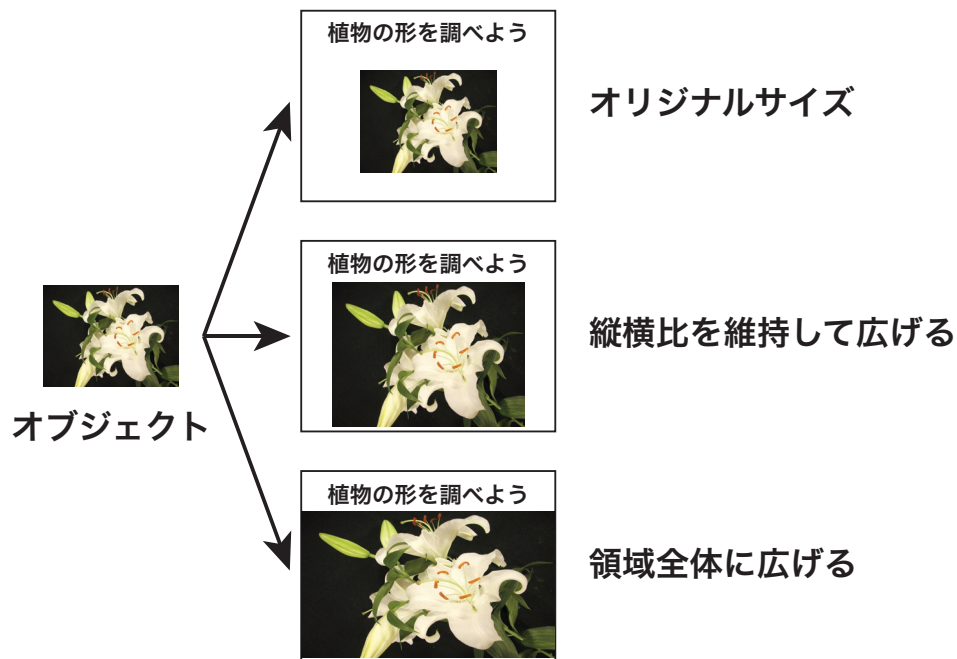
オブジェクトの作成

1 [ページ作成ウィザード]でオブジェクトを指定する際に、[詳細設定]をクリックします。[オブジェクト作成ウィザード]が開き、ここでオブジェクトの作成や詳細設定を行うことができます。あるいは、[ページ作成ウィザード]で[デザイン編集]ボタンをクリックし、[ページ編集]ウィンドウ内の[オブジェクト]ボタンをクリックしても、[オブジェクト作成ウィザード]を開くことができます。



2 [オブジェクトファイル]の入力欄に、画像やムービーなど表示したいメディアのファイルパスかURLを入力します。参照ボタン[...]をクリックして、ファイルを選択することもできます。また、入力エリアにファイルをドラッグ&ドロップしてもファイルパスを設定できます。

3 オブジェクトが静止画の場合、[サイズ設定]でオブジェクトの表示エリアへのサイズ合わせ方法を選択することができます。



4 動画やインタラクティブメディアなど、オブジェクトによっては背景色や再生コントロールの設定、自動再生の設定などを行うことができます。

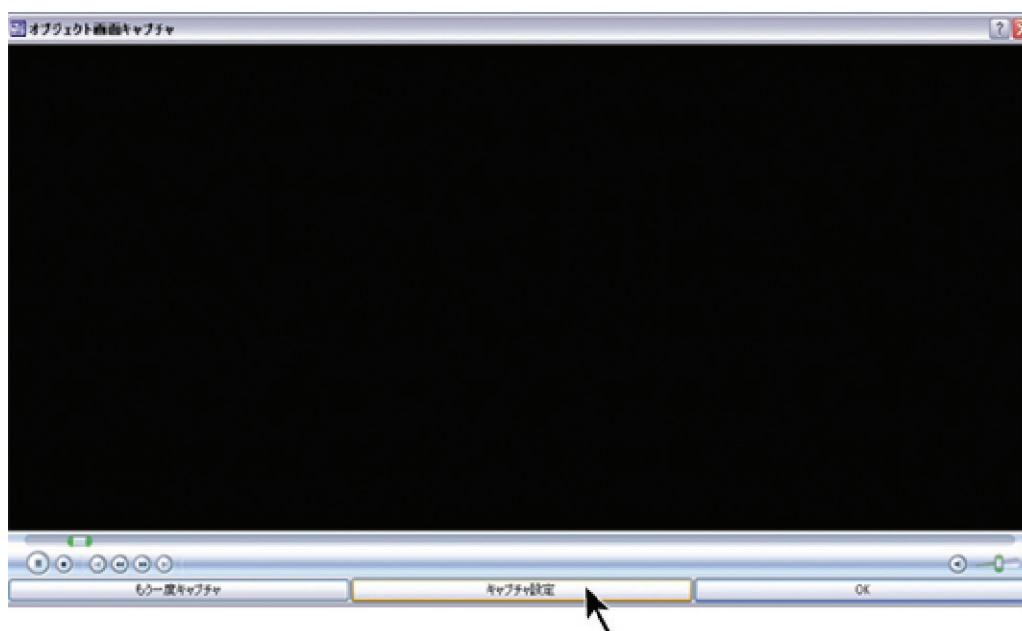
5 画像以外のオブジェクトについては、プレビュー表示用の画像を作成する必要があります。ファイルパスの入力後、[代替画像作成]をクリックして[オブジェクト画面キャプチャ]ダイアログを表示させます。オブジェクトの内容をよく表している場面で[キャプチャ]ボタンを押すと、代替画像が作成されます。



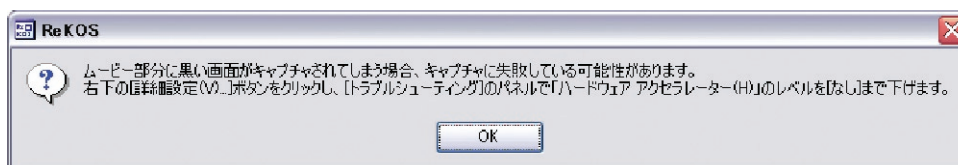
[もう一度キャプチャ]ボタンを押すと、キャプチャをやり直すことができます。



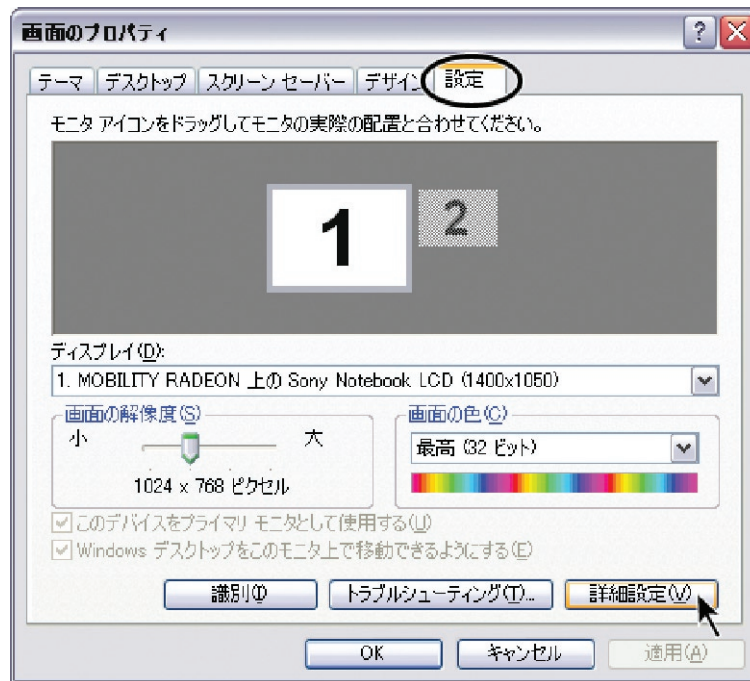
※ 一部の環境では、ビデオドライバのアクセラレーション機能によりムービーの画面キャプチャに失敗し、画面が真っ黒になる場合があります。



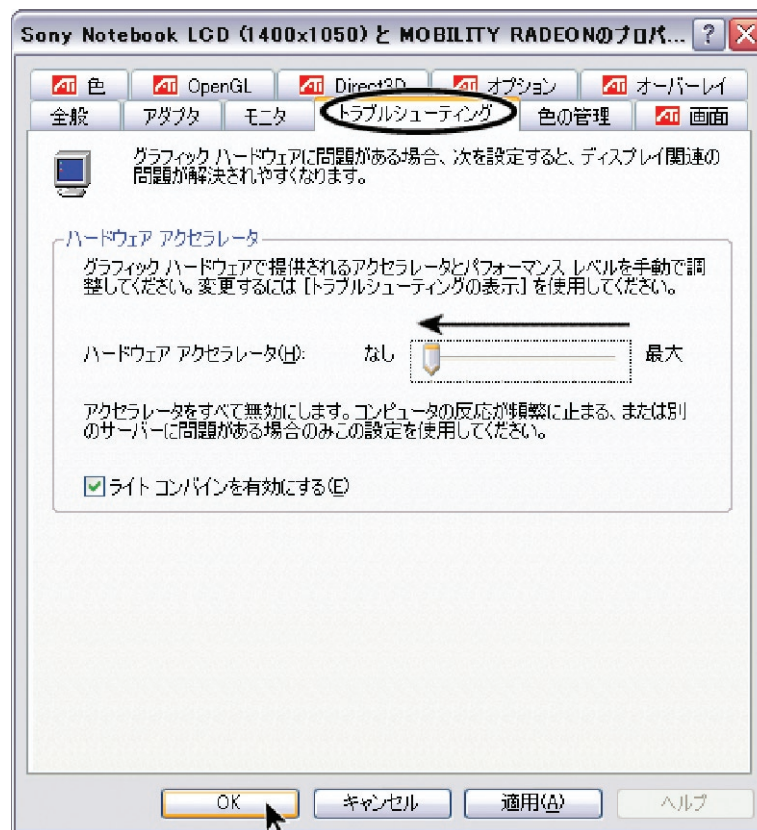
この場合は、[キャプチャ設定] をクリックし、表示に従ってハードウェアアクセラレータを無効にするよう設定してみてください。



画面のプロパティウインドウの [設定] パネルの右下 [詳細設定] ボタンをクリックします。



[トラブルシューティング] パネルの [ハードウェア アクセラレータ (H)] のレベルを [なし] まで下げ、[OK] をクリックします。



再度オブジェクトの画面キャプチャを行います。キャプチャができれば、[OK] をクリックします。



6 オブジェクトが一つ以上のファイルから構成される場合、[関連ファイル] ボタンをクリックして [関連ファイル編集] ダイアログを開きます。この中に必要な関連ファイルのファイルパスをすべて登録してください。ファイルパスはファイルをこのダイアログにドラッグ&ドロップしても登録できます。また、関連ファイルにはフォルダもドラッグ&ドロップで登録できます。関連ファイルとして登録されたファイルは、コンテンツの移動や書き出しの際にも適切に処理されます。

7 ReKOS ではオブジェクトをページ内の HTML タグに変換する際、メディアの種類をファイルパスの拡張子から自動的に判別して、それぞれについて適切な HTML タグを作成します。しかし関連ファイルの指定やオプションパラメータの指定など、特別な HTML タグを使用したい場合は、[タグ編集] ボタンをクリックして [タグ編集] ダイアログを開きます。ここで置換文字を含む HTML タグを作成して [OK] で設定すると、オブジェクトの表示の際にはここで作成した HTML タグを使用してオブジェクトが表示されます。

8 オブジェクトについて全ての設定が終わったら [次へ] ボタンをクリックします。

9 [オブジェクト情報 (LOM) 入力] 画面で LOM 情報を入力します。詳細については後述の [LOM の入力] の項目をご覧ください。

10 [完了] ボタンをクリックしてオブジェクトの作成を終了します。

デザイン編集

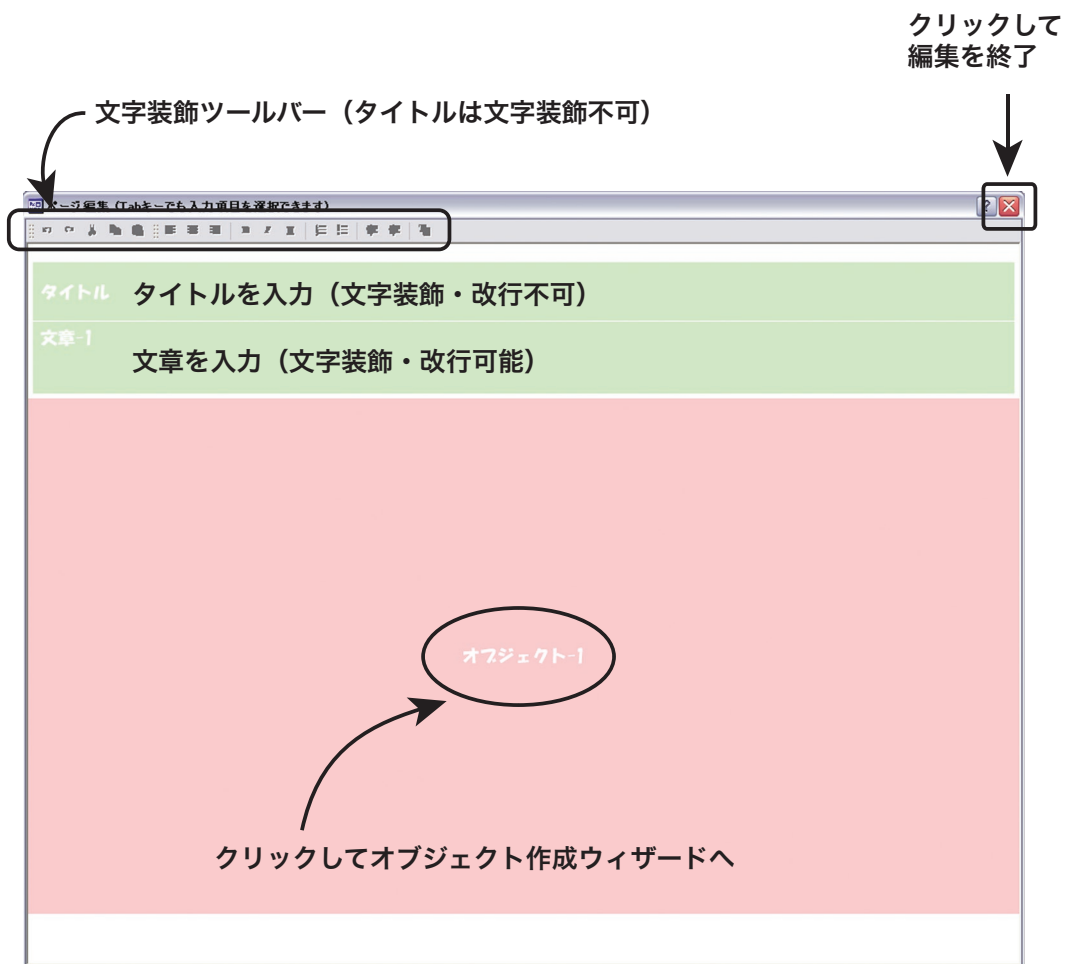
実際にプレゼンテーションで表示される画面イメージを見ながらページを作成することができます。

- 1 ページ作成ウィザードで [デザイン編集 ...] ボタンをクリックします。



- 2 [ページ編集] ウィンドウが表示され、この中で各項目を直接入力できます。このウィンドウ内で入力項目を切り替えるにはキーボードで [Tab] キーを押します。

ウィンドウ上部のツールバーを使って、本文の文章について文字装飾などを行うことができます。ただし、タイトルには文字装飾や改行を行うことができません。タイトルに文字装飾や改行を行うと HTML タグが入ってしまうことがあります。タイトルにはタグをつけても反映されず、タグごと表示されてしまいます。その場合、デザイン編集ウィンドウを閉じ、ページ作成ウィザードでタイトルについているタグを消去して下さい。

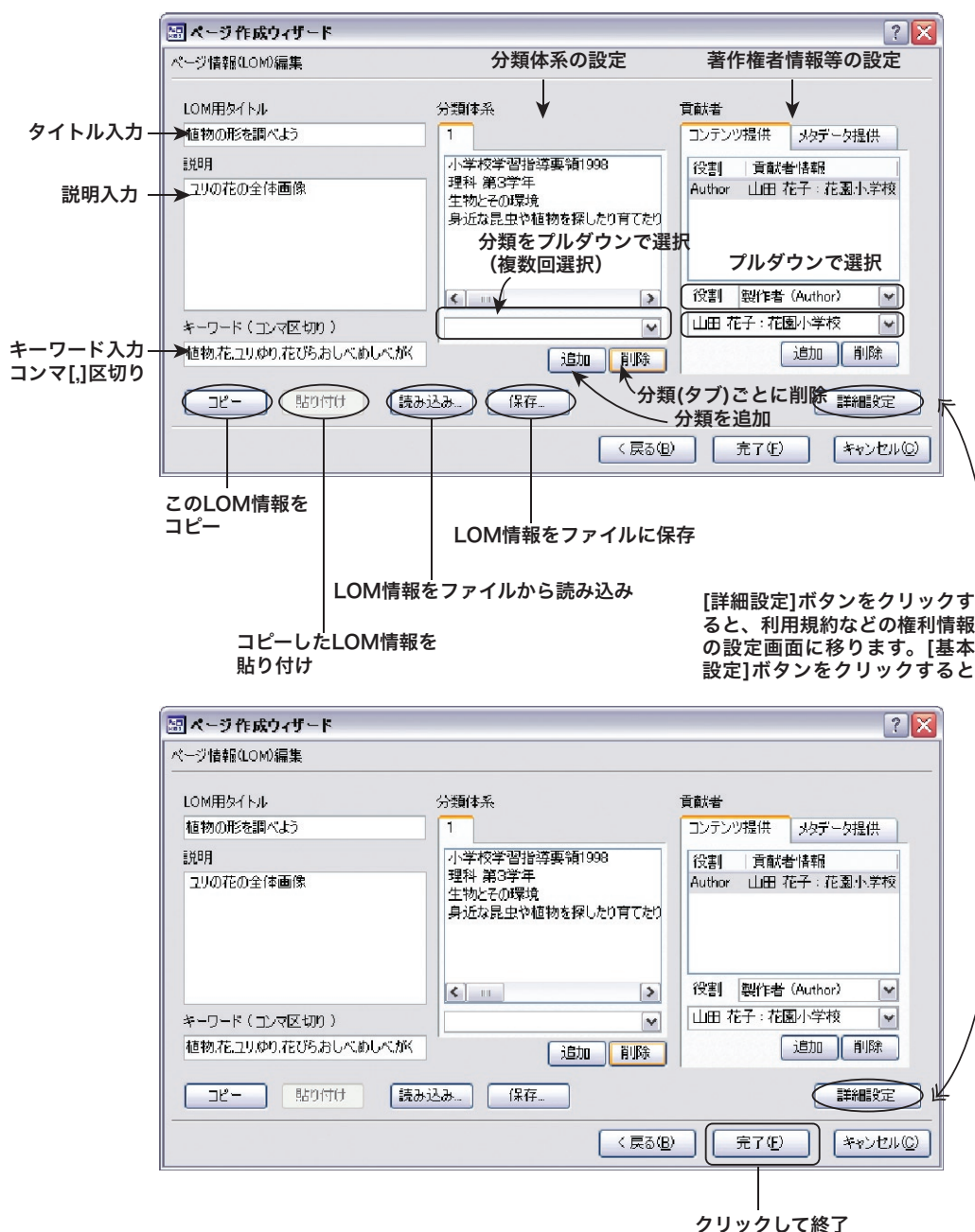


3 オブジェクトを設定するには、ウィンドウ内の [オブジェクト] ボタンをクリックして [オブジェクト作成ウィザード] を開きます。[オブジェクト作成ウィザード] については前述の「オブジェクトの作成」の項目をご覧ください。

4 [ページ編集] ウィンドウでのページ編集を終了するには、ウィンドウ右上の [×] ボタンでこのウィンドウを閉じます。

LOM の入力

1 オブジェクトの LOM 情報はオブジェクト作成ウィザードの [オブジェクト情報 (LOM) 入力] で、ページの LOM 情報はページ作成ウィザードの [ページ情報 (LOM) 入力] で設定します。オブジェクトの LOM 情報もページの LOM 情報も、設定方法は一緒です。再利用性を高めるためにも、できるだけ適切に入力することをお勧めします。



■ LOM 用タイトル・説明

ページやオブジェクトのタイトルと説明を入力します。ページの LOM 情報の [LOM 用タイトル] と [説明] は、リストビューでの [タイトル] と [概要] に適用されます。

■キーワード

ページやオブジェクトの検索用キーワードを入力します。複数入力する際は、コンマ [,] で区切ります。

■分類体系

現在のバージョンでは、文部科学省が定めた学習指導要領がセットされています。作成したページやオブジェクトが学習指導要領のどの単元で利用可能かを入力します。入力は、プルダウンで複数回選択することで、学年、単元などを詳しく設定できます。

■コピー、貼り付け、読み込み、保存ボタン

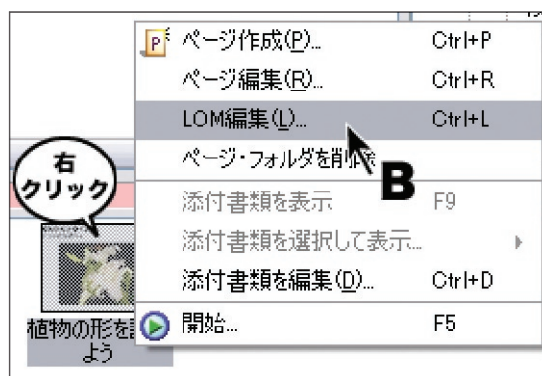
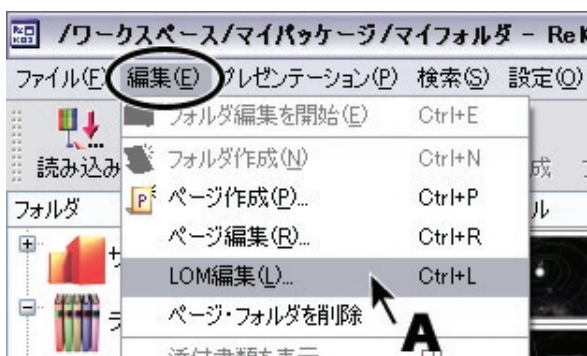
複数のページやオブジェクトに同じ LOM を入力する際に利用すると便利です。

■詳細設定、基本設定ボタン

[詳細設定] ボタンをクリックすると、利用規約などの権利情報の設定画面に移ります。[基本設定] ボタンをクリックすると戻ります。

2 LOM の入力を終了するときは、[完了] ボタンをクリックします。

3 LOM を編集するには、フォルダの編集に並べ替えエリアに表示されたページのアイコンを選択し、[編集] メニュー **[A]** から [LOM 編集] を選択します。または、右クリックすると表示されるメニュー **[B]** で [LOM 編集] を選択します。同様にフォルダを選択して [LOM 編集] を選択すると、フォルダの LOM 情報を編集することができます。



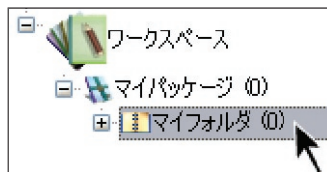
4 ページ作成ウィザードに入ります。ここで LOM 入力時と同様に、LOM の編集ができます。


08 コンテンツをパッケージとして書き出す

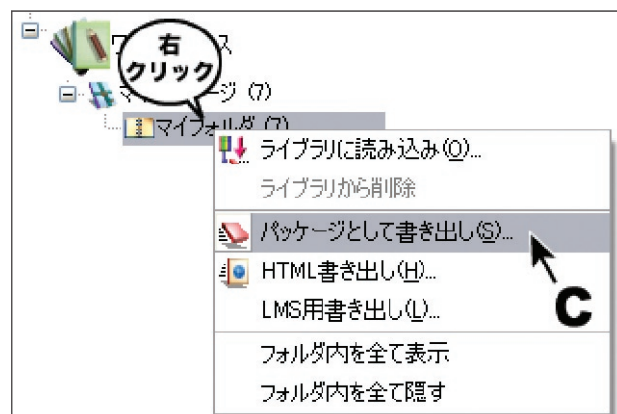
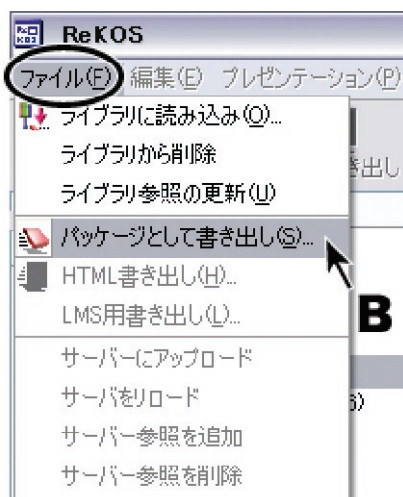
フォルダをパッケージとして書き出す

既存コンテンツや作成したコンテンツは、フォルダやパッケージ単位で書き出すことができます。書き出したパッケージを、後からライブラリに読み込むことにより、他の ReKOS ユーザーとのコンテンツの配布や共有が可能になります。

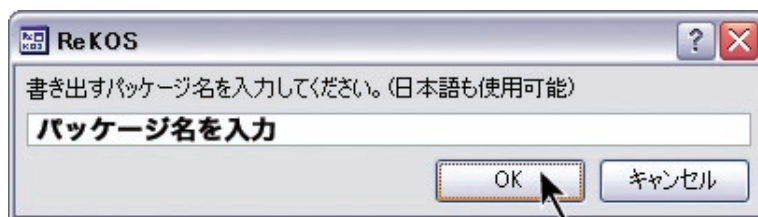
1 ツリービューで書き出したいフォルダを選択します。



2 ツールバー【A】の[パッケージとして書き出し]ボタンをクリックします。または、[ファイル]メニュー【B】や、フォルダを右クリックすると表示されるメニュー【C】から[パッケージとして書き出し]を選択します。



3 パッケージ名入力ダイアログでパッケージ名を入力して、[OK] をクリックします。書き出したフォルダはこのパッケージの中に納められます。



4 保存先を指定し、ファイル名を入力します。ファイル名は半角英数字で入力します。

※ ファイル名に日本語の名前を使用すると、書き出したコンテンツを読み込む際に画像が表示されなくなってしまいます。必ず、半角英数字を使用するようにしてください。

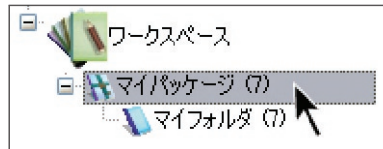


5 [保存] をクリックして、パッケージを書き出します。

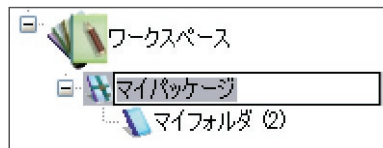
コンテンツによっては、著作権等により他人に配布したり公開することが制限されていることがあります。配布や公開をする場合は利用制限について事前に確認して下さい。


パッケージを書き出す

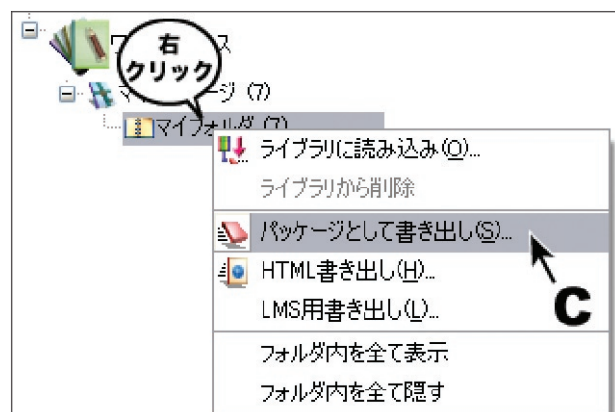
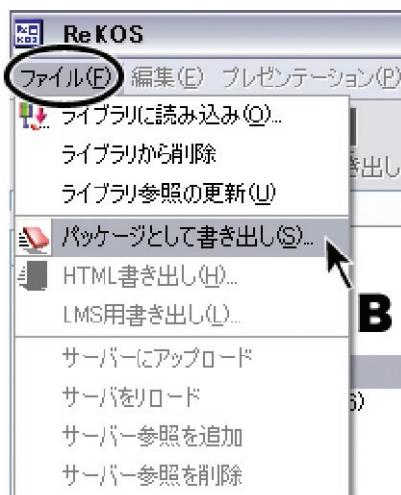
1 ツリービューで書き出したいパッケージを選択します。



2 ライブラリのパッケージはパッケージ名を変更して書き出すことはできませんが、ワークスペースのパッケージはパッケージ名を変更して書き出すことができます。パッケージを変更したいときは、ゆっくりと2回クリックし、書き出したいパッケージ名に変更します。



3 ツールバー **[A]** の [パッケージとして書き出し] ボタン  をクリックします。または、[ファイル] メニュー **[B]** や、パッケージを右クリックすると表示されるメニュー **[C]** から [パッケージとして書き出し] を選択します。



4 保存先を指定し、ファイル名を入力します。ファイル名は半角英数字で入力します。

※ ファイル名に日本語の名前を使用すると、書き出したコンテンツを読み込む際に画像が表示されなくなってしまう。必ず、半角英数字を使用するようにしてください。



5 [保存] をクリックして、パッケージを書き出します。


コンテンツによっては、著作権等により他人に配布したり公開することが制限されていることがあります。配布や公開をする場合は利用制限について事前に確認して下さい。

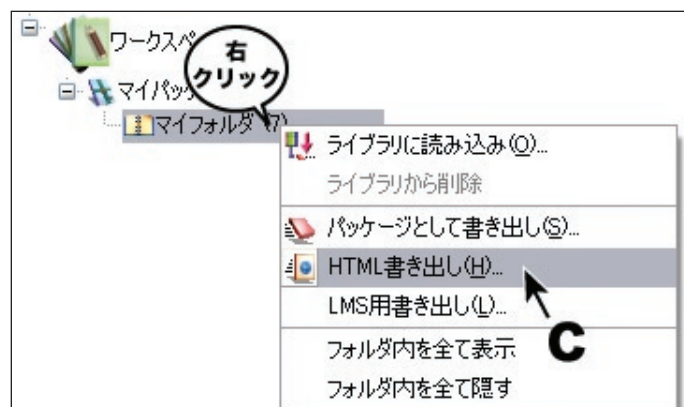
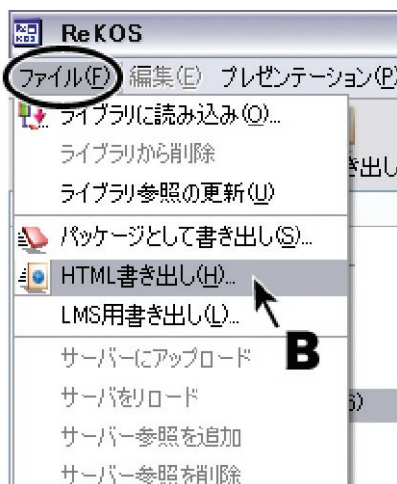
09 コンテンツを HTML に書き出す

コンテンツを HTML に書き出すことで、ReKOS ユーザー以外にもコンテンツを配布したり、ウェブサイトに公開することが可能です。

1 ツリービューで HTML に書き出したいフォルダを選択します。



2 ツールバー **[A]** の [HTML 書き出し] ボタン  をクリックします。または、[ファイル] メニュー **[B]** や、フォルダを右クリックすると表示されるメニュー **[C]** から [HTML 書き出し] を選択します。



3 保存先を指定し、ファイル名を入力します。



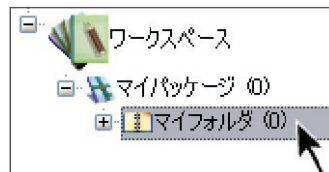
4 [保存] をクリックして、HTML を書き出します。ファイル名と同名のフォルダが作成され、その中に HTML ファイルが保存されます。書き出した HTML は、フォルダ内の [index.html] ファイルをダブルクリックしてブラウザで表示することができます。ポップアップウィンドウを開かない設定になっていると表示できません。その場合、設定を解除するか、フォルダ内の [00000000.html] をダブルクリックして表示し、[F11] キーで全画面表示にしてお使い下さい。画面下部にメニューバーが見あたらない場合にも、[00000000.html] をダブルクリックして表示し、[F11] キーで全画面表示にしてみてください。

コンテンツによっては、著作権等により他人に配布したり公開することが制限されていることがあります。配布や公開をする場合は利用制限について事前に確認して下さい。

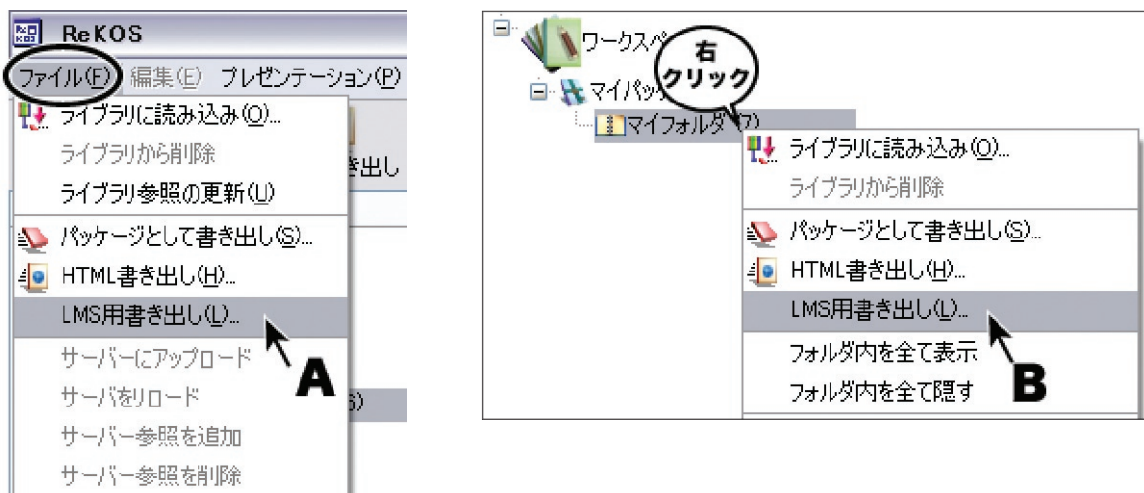
10 コンテンツを LMS 用書き出す

コンテンツを LMS(Learning Management System) 用書き出すことで、ReKOS コンテンツを LMS 環境で利用できます。

1 ツリービューで LMS 用書き出したいフォルダを選択します。



2 [ファイル]メニュー【A】またはフォルダを右クリックすると表示されるメニュー【B】から[LMS用書き出し]を選択します。



3 保存先を指定し、ファイル名を入力します。ファイル名は半角英数字で入力します。

※ ファイル名に日本語の名前を使用すると、書き出したコンテンツを読み込む際に画像が表示されなくなってしまう。必ず、半角英数字を使用するようにしてください。



4 [保存] をクリックして書き出します。


※ 書き出されるものは、SCORM1.2 に準拠した LMS で使用するために LMS 連動機能を追加した HTML ファイルです。「SCORM Version 1.2 Conformance Test Suite Version 1.2.4」での動作確認がされていますが、他の LMS での動作は未確認です。

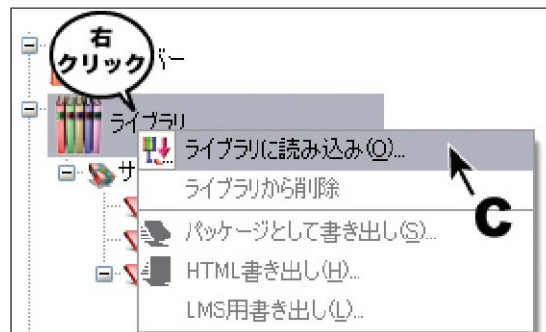
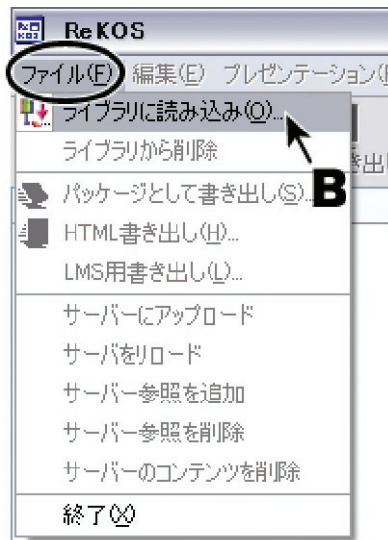
コンテンツによっては、著作権等により他人に配布したり公開することが制限されていることがあります。配布や公開をする場合は利用制限について事前に確認して下さい。

11 コンテンツをライブラリに読み込む

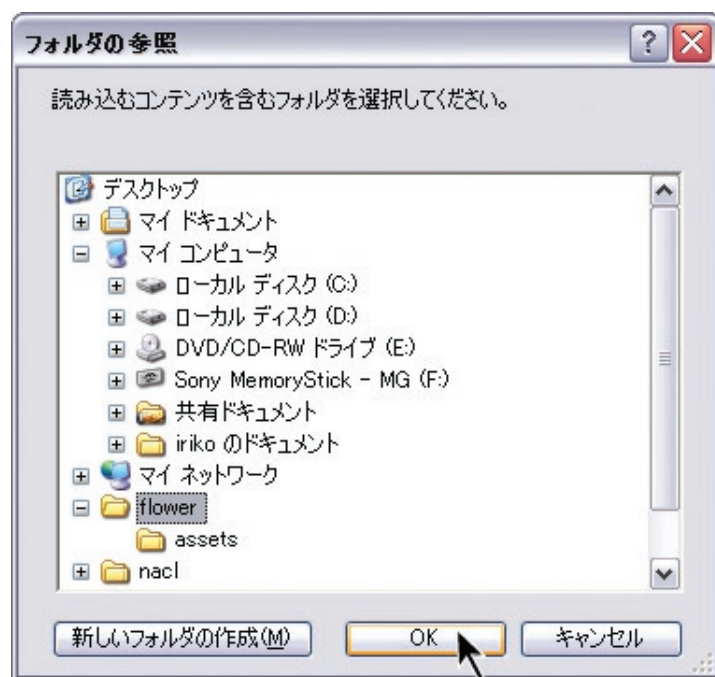
ライブラリに読み込み

ReKOS で作成、書き出しをしたパッケージは、ライブラリに読み込むことができます。

1 ツールバー **[A]** の [ライブラリに読み込み] ボタン  をクリックします。または、[ファイル] メニュー **[B]** や、ライブラリアイコンを右クリックすると表示されるメニュー **[C]** から [ライブラリに読み込み] を選択します。



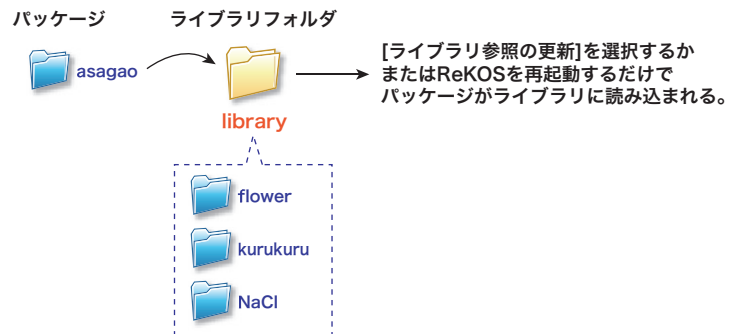
2 [フォルダの参照] ウィンドウで読み込むパッケージを選択し、[OK] をクリックして読み込みます。



※ 選択したファイルが ReaKOS 対応コンテンツパッケージでなかったり、パッケージの上のフォルダを選択した場合などは、[OK] をクリックしても再び [フォルダの参照] ウィンドウが出ます。

ライブラリフォルダへのコンテンツ追加

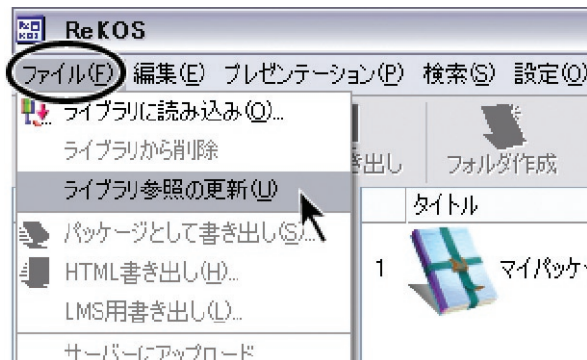
[ライブラリに読み込み]を行わなくても、パッケージをライブラリフォルダに保存するだけでライブラリに読み込むことができます。



1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [ReKOS] → [ライブラリフォルダ]でライブラリフォルダを開きます。

2 ライブラリフォルダの中に読み込むパッケージを移動します。

3 [ファイル]メニューから[ライブラリ参照の更新]を選択するか、または ReKOS を再起動します。



4 パッケージがライブラリに読み込まれます。



12 複数のライブラリフォルダの参照

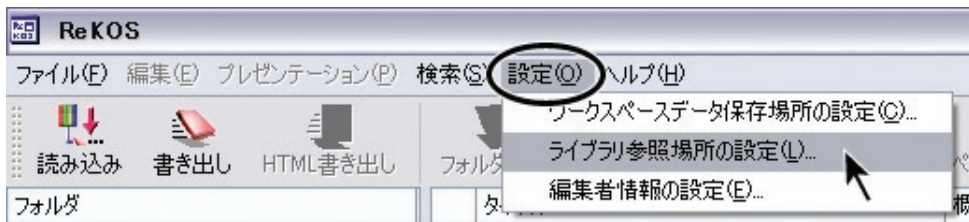
ライブラリフォルダの参照

Cドライブ、Dドライブ、ネットワークドライブ、外付けHDD、CD-ROM、フロッピーディスク、フラッシュメモリなどの複数のドライブや任意のフォルダを、ライブラリのコンテンツを格納する「ライブラリフォルダ」として参照することができます。

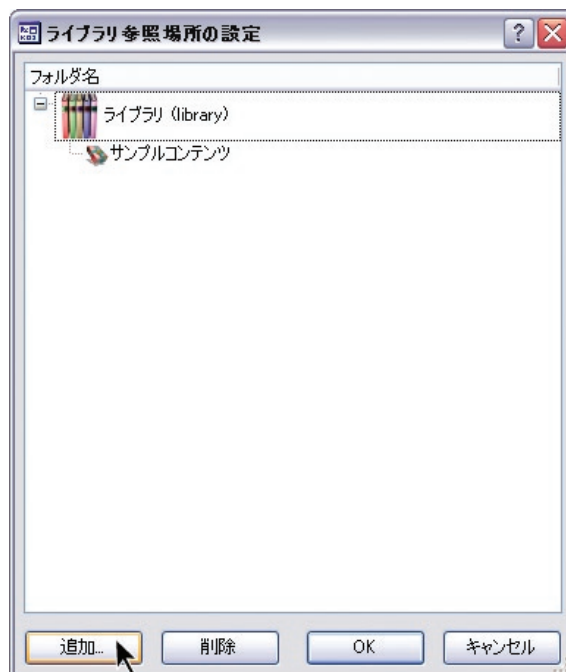
1 コンテンツをパッケージとして書き出し、任意のドライブまたはフォルダに保存します。このドライブまたはフォルダをライブラリフォルダとして参照します。



2 ドライブまたはフォルダをライブラリフォルダとして参照するには、[設定]メニューから[ライブラリ参照場所の設定]を選択します。



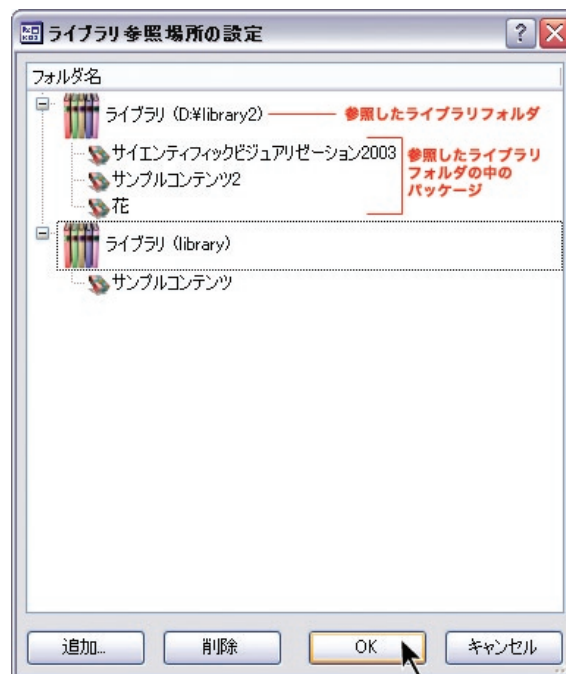
3 [ライブラリ参照場所の設定] ウィンドウで、[追加] ボタンをクリックします。



4 [フォルダの参照] ウィンドウで、パッケージを含むドライブまたはフォルダを選択し、[OK] ボタンをクリックします。



5 [ライブラリ参照場所の設定] ウィンドウでライブラリフォルダが追加され、パッケージが一覧表示されます。参照したライブラリフォルダにパッケージが含まれていない、または、ライブラリフォルダの上のフォルダやパッケージ自体を参照してしまった場合などには、パッケージが表示されません。



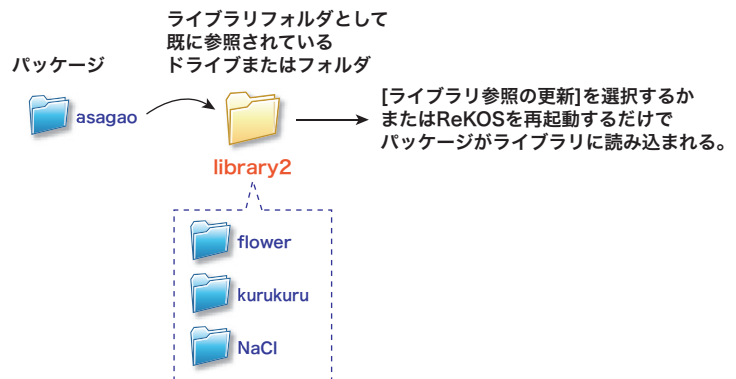
[ライブラリ参照場所の設定] ウィンドウでは、[追加] ボタンで複数のライブラリフォルダを参照したり、[削除] ボタンでライブラリフォルダを削除したりすることもできます。削除されたライブラリフォルダは参照を解除されただけで、実データは削除されません。[OK] ボタンをクリックすると、設定が終了します。

6 ライブラリが更新され、参照したライブラリフォルダ内のパッケージが読み込まれます。



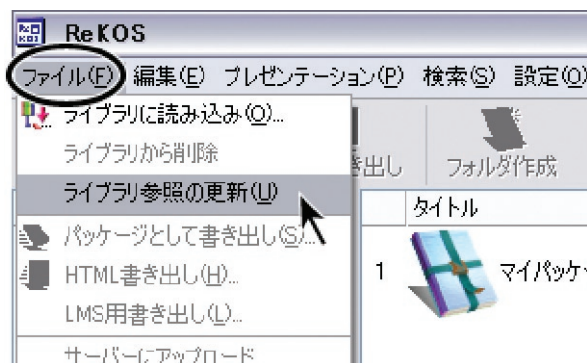
ライブラリフォルダへのコンテンツ追加

ライブラリフォルダとして参照されているドライブまたはフォルダにパッケージを保存するだけで、コンテンツをライブラリに読み込むことができます。



1 ライブラリフォルダとして既に参照されているドライブまたはフォルダ内に別のパッケージを追加保存します。

2 [ファイル]メニューから[ライブラリ参照の更新]を選択するか、または ReKOS を再起動します。



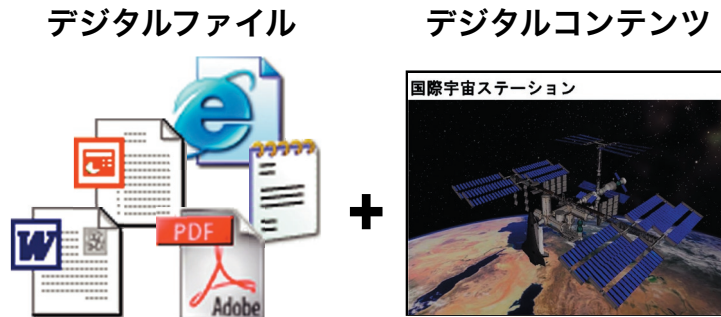
3 追加したパッケージがライブラリに読み込まれます。この機能を利用すると、[ライブラリに読み込み]機能を使わなくてもコンテンツをライブラリに読み込むことができます。



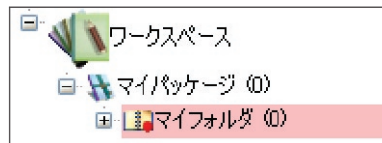
13 デジタルデータの添付と表示

デジタルデータの添付

学習指導案や論文、関連・参考ファイルなど、パソコンで扱えるデジタルデータ（ファイル）書類なら、コンテンツに添付して一緒に管理することができます。



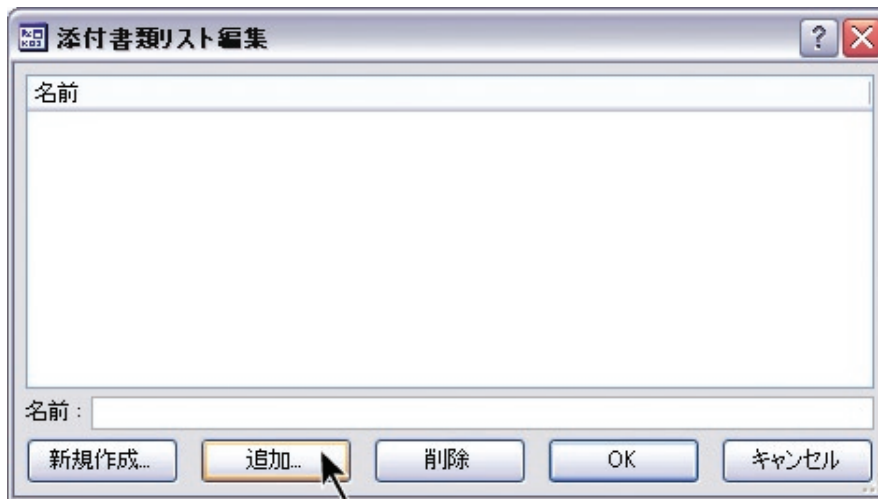
1 書類を添付したいページまたはフォルダが含まれているフォルダを編集状態にします。フォルダを編集状態にする方法については前述の「フォルダの編集」項目をご覧ください。



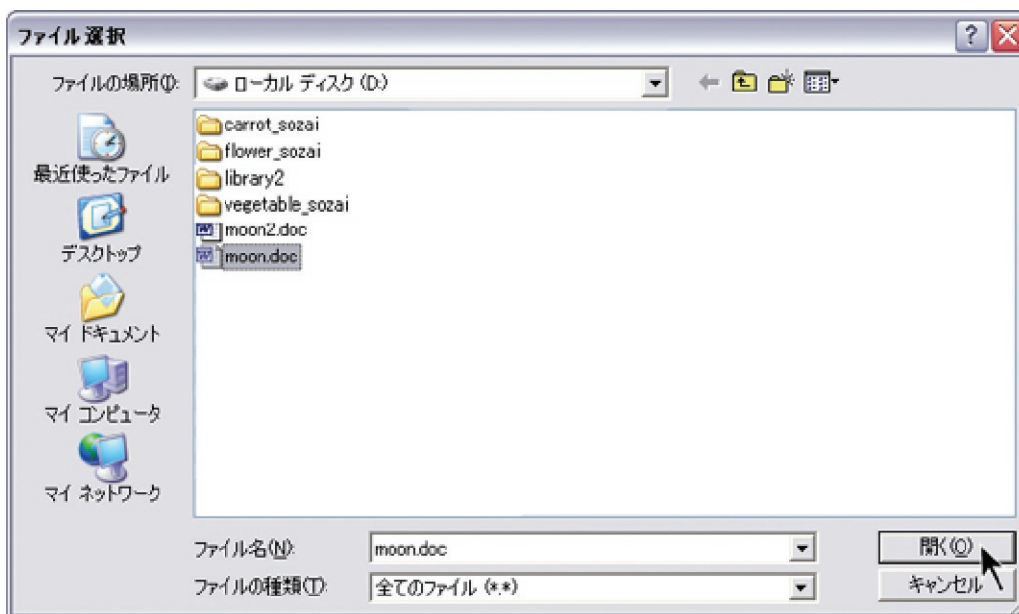
2 並べ替えエリアに表示されたページまたはフォルダのアイコンを選択し、[編集]メニュー [A] から [添付書類を編集] を選択します。または、右クリックすると表示されるメニュー [B] から [添付書類を編集] を選択します。



3 [添付書類リスト編集] ウィンドウで、[追加] ボタンをクリックします。



4 [ファイル選択] ウィンドウで、添付したい書類を選択し、[開く] ボタンをクリックします。



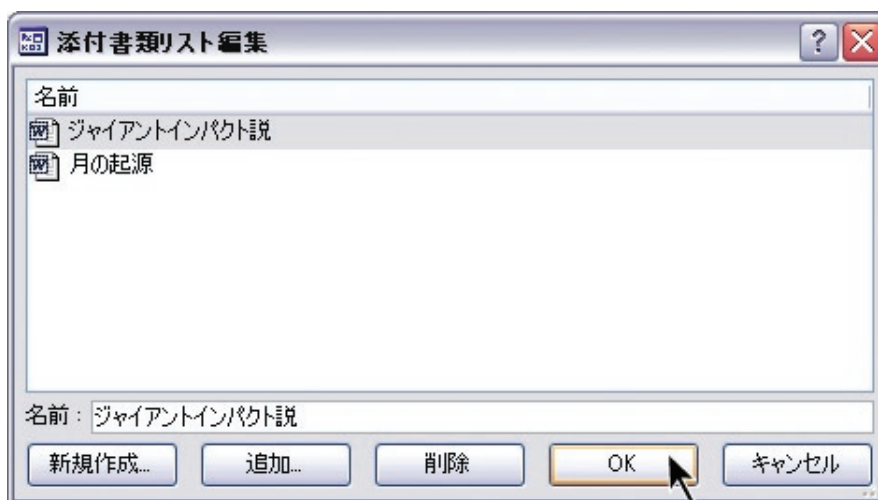
5 書類がリストに登録されます。



6 書類の名前は [名前] の入力欄で自由に変更できます。



7 書類は、複数添付することができます。添付したい書類を [添付書類リスト編集] ウィンドウにドラッグ&ドロップしても登録することができます。[削除] ボタンまたはキーボードの [Delete] キーで、選択された書類を削除します。[OK] をクリックすると添付書類リスト編集が終了します。

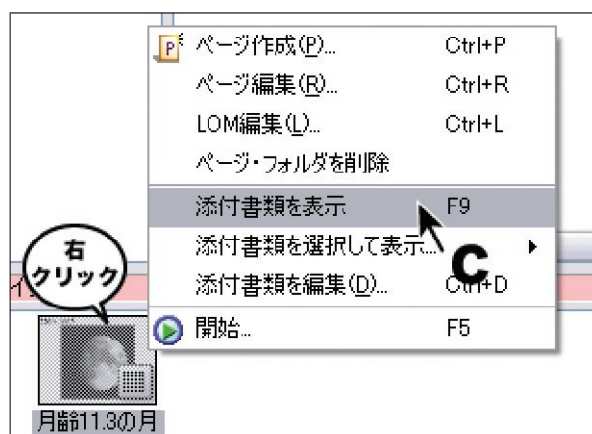
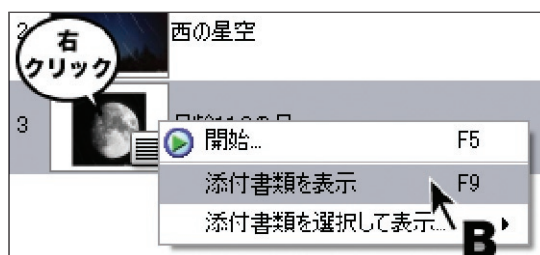
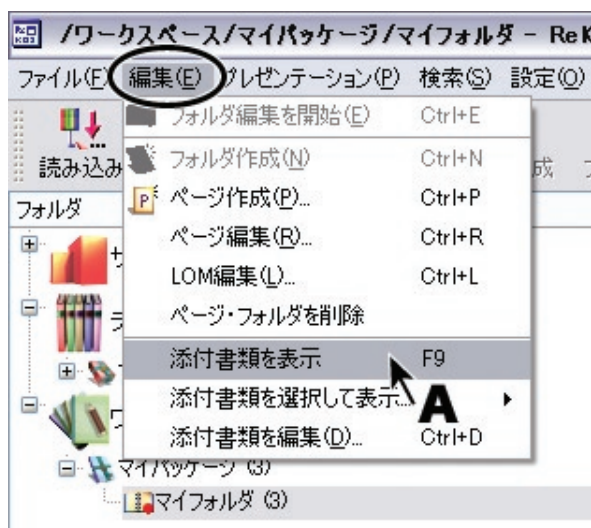


8 書類が添付されたページやフォルダには、添付書類マーク  が表示されます。

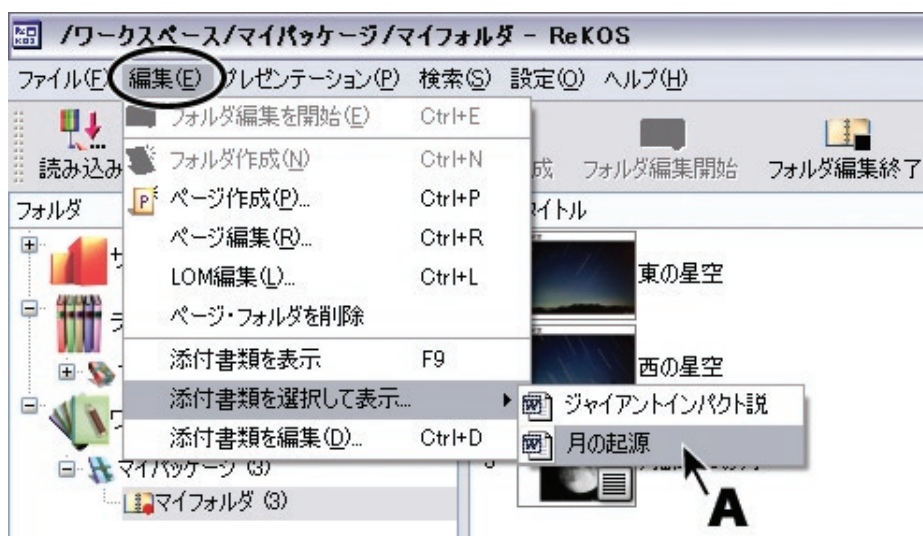


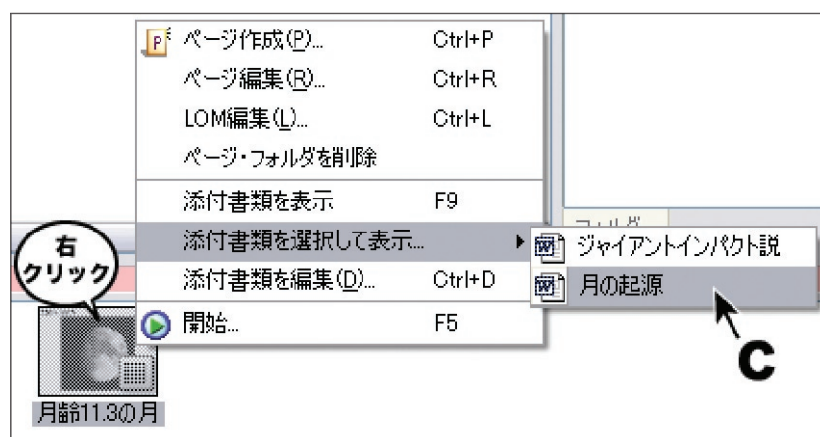
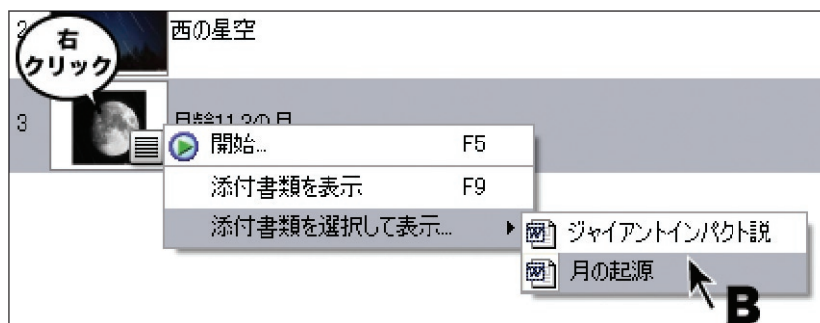
デジタルデータの表示

添付されているファイルを表示するには、[編集]メニュー【A】や、右クリックすると表示されるメニュー【B】【C】から[添付書類を表示]を選択します。添付されている全てのファイルが開かれるため、複数のファイルが添付されている際にはご注意ください。



[編集]メニュー【A】や、右クリックすると表示されるメニュー【B】【C】から[添付書類を選択して表示]を選択すると、表示したいファイルを選んで開くことができます。



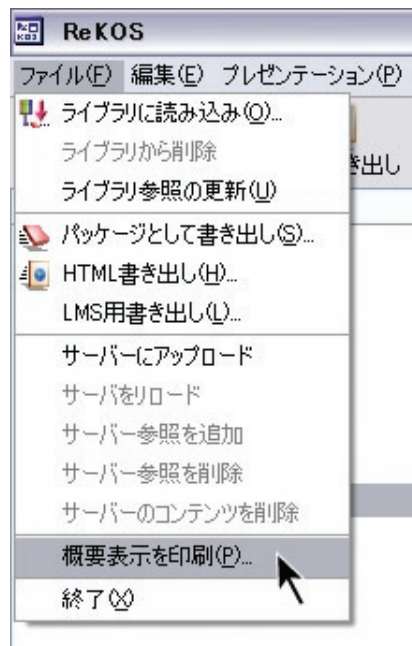


※ 添付書類を表示するためには、ファイルの種類によって別途プラグインやソフトウェアが必要な場合があります。

14 プリントアウト

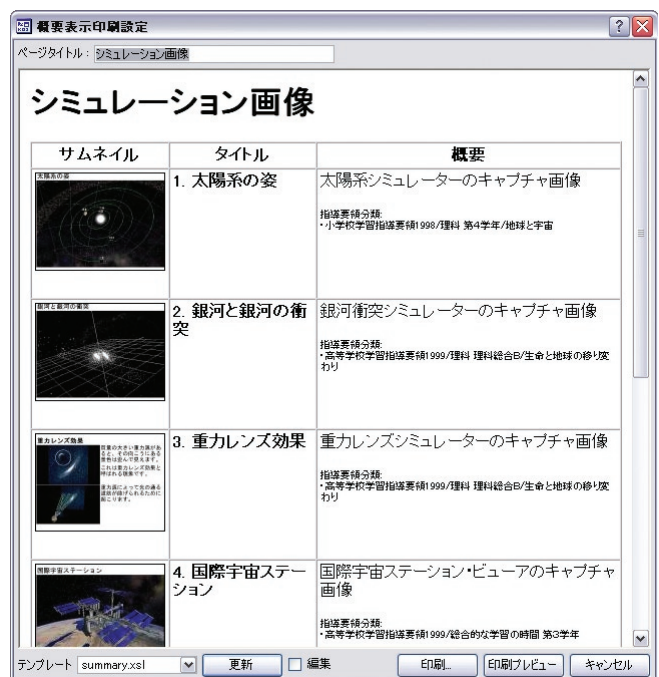
様々なテンプレートを使って、コンテンツをプリントアウトすることができます。

1 プリントアウトをしたいフォルダを選択し、[ファイル]メニューから[概要表示を印刷]を選択します。



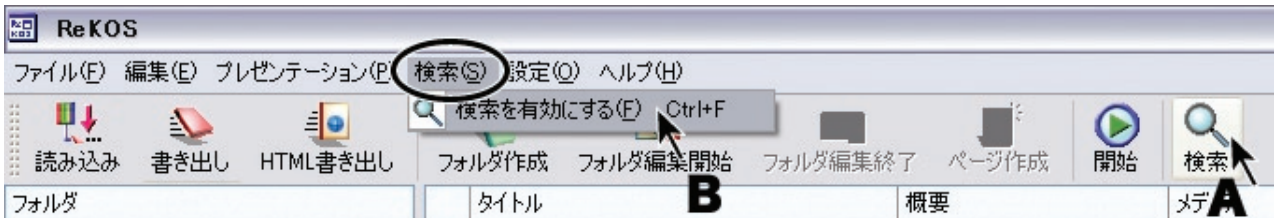
2 [概要表示印刷設定] ウィンドウで左下のテンプレートを選択すると、用意されたテンプレートにしたがって概要表示のスタイルが切り替わります。ページにタイトルを付けたい場合は上の[ページタイトル]を編集して[更新]ボタンをクリックしてください。また、より細かく概要表示の編集を行いたい場合は、[編集]にチェックを入れて概要表示の内容を直接編集することができます。

3 [印刷プレビュー] ボタンをクリックして印刷イメージを確認し、問題なければ[印刷]ボタンをクリックして概要表示を印刷します。



15 フォルダやページの検索

1 ツールバー【A】または[検索]メニュー【B】から[検索を有効にする]  を選択します。



2 ツリービューでライブラリやワークスペース内のパッケージやフォルダを選択します。選択したパッケージやフォルダを検索範囲として、キーワードや分類体系で絞り込んで検索できます。

※ サーバー内にあるコンテンツを検索する場合、サーバーまたはパッケージを検索範囲として指定して下さい。フォルダを検索範囲として指定することはできません。

3 キーワードを入力、必要であれば分類体系をプルダウンで選択後、[検索]をクリックします。キーワードだけ、または分類体系だけでも検索できます。

スペースで区切って複数のキーワードを入力すると、すべてのキーワードを含むものだけが検索されます。

4 該当するものがあれば、リストビューに表示されます。その中からフォルダやページを選択して並べ替えエリアにドラッグ&ドロップすることにより、編集時のフォルダにページやフォルダを追加することができます。

※ 検索が有効になっているときは、リストビューには検索結果が表示されます。ツリービューでパッケージやフォルダをクリックしてもリストビューにその内容は表示されません。パッケージやフォルダの内容をご覧になりたいときには、検索モードを解除してください。

5 検索モードでは、リストビュー上部の項目名(タイトル、概要)をクリックして、リストの表示順を変更することができます。

6 検索を終了する時は、再度[検索]メニューまたはツールバーから、[検索を無効にする]を選択して検索モードを解除します。

検索結果 リストの表示順を変更可能 クリックで検索有効・無効

検索を行うパッケージまたはフォルダを選択

キーワード入力

プルダウンで分類体系選択

検索モード

編集中のフォルダにドラッグ&ドロップで挿入・追加

クリックして検索開始

入力したキーワードと分類体系を消去

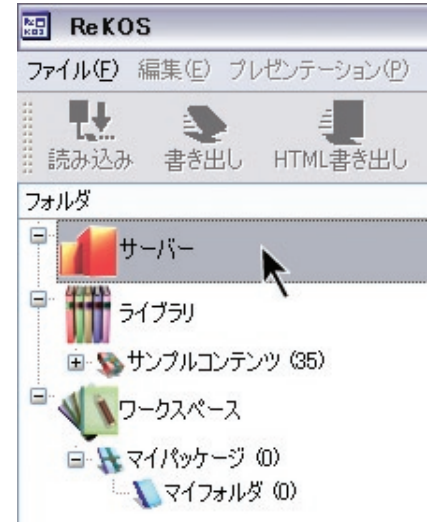
No.	サムネイル	タイトル	概要
1		夏の六三角	夏の六三角、タイトル
2		夏の六三角(写真+線)	夏の六三角の写真に線をひいたもの
3		夏の六三角はどれ?	夏の六三角の写真
4		月の姿	月の姿、タイトル
5		月齢11.3の月	月齢11.3の月
6		月齢12.7の月	月齢12.7の月
7		月齢13.7の月	月齢13.7の月
8		月齢14.3の月	月齢14.3の月
9		月齢14.6の月	月齢14.6の月

12 サーバーのコンテンツを利用する

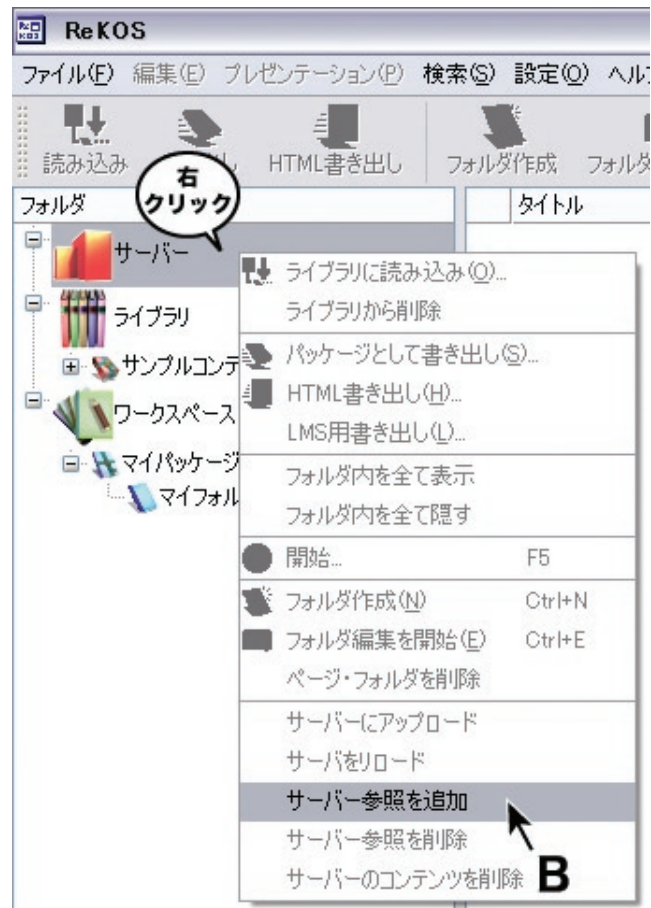
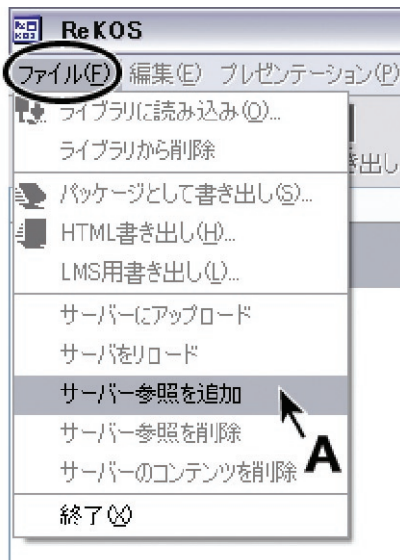
サーバーを参照する

ご利用の環境に ReKOS に対応した KOS サーバーがあれば、KOS サーバーに登録された豊富なコンテンツから利用したいコンテンツをダウンロードしたり、自作コンテンツをサーバーにアップロードして、ほかのユーザーと共有することができます。

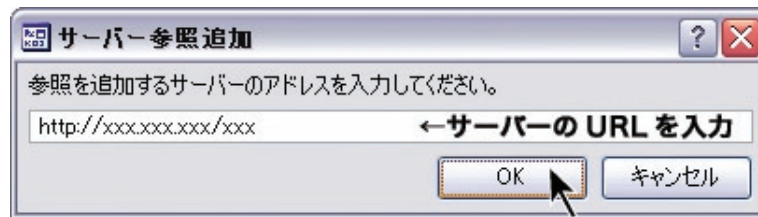
1 ツリービューのサーバーアイコン  をクリックします。



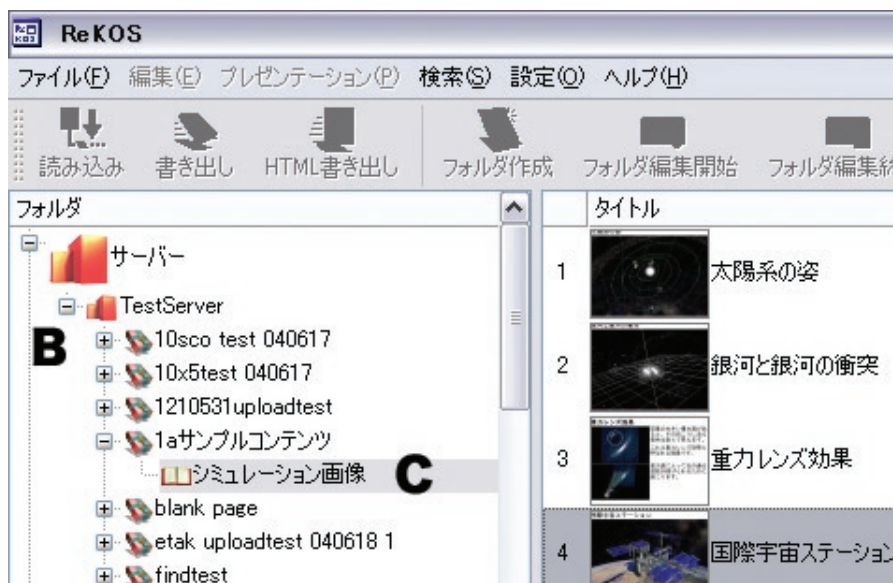
2 [ファイル]メニュー【A】またはサーバーを右クリックすると表示されるメニュー【B】から[サーバー参照を追加]を選択します。



3 [サーバー参照追加] ダイアログボックスに、サーバーのアドレス (URL) を入力して [OK] ボタンをクリックします。



4 追加したサーバーのアイコンが、ツリービューに表示されます【A】。アイコンをダブルクリックすると、サーバー内のコンテンツが表示されます【B】。サーバー内のコンテンツは、ライブラリにあるコンテンツと同様に、ツリーを開いて選択したり【C】、検索することができます。



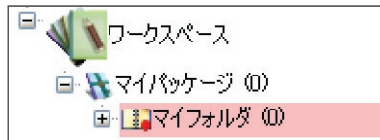
※ サーバー内にあるページやフォルダをそのまま再生することはできません。必ずワークスペース内にダウンロードしてから再生してください。ダウンロードについての詳細は後述の「サーバーからコンテンツをダウンロードする」の項目をご覧ください。

※ サーバー内にあるコンテンツを検索する場合、サーバーまたはパッケージを検索範囲として指定して下さい。フォルダを検索範囲として指定することはできません。

※ リストビューに表示されたサーバー内のページのサムネイルをクリックすると、プレビュー表示と LOM 情報が表示されますが、サーバー内のページのプレビューは、リストビューで表示されているサムネイルをそのまま拡大した画像のため、粗い表示となっています。サーバーからワークスペースにダウンロードされたページのプレビューを表示する場合は、サーバー内のページのプレビュー表示よりも精細な画像で表示されます。

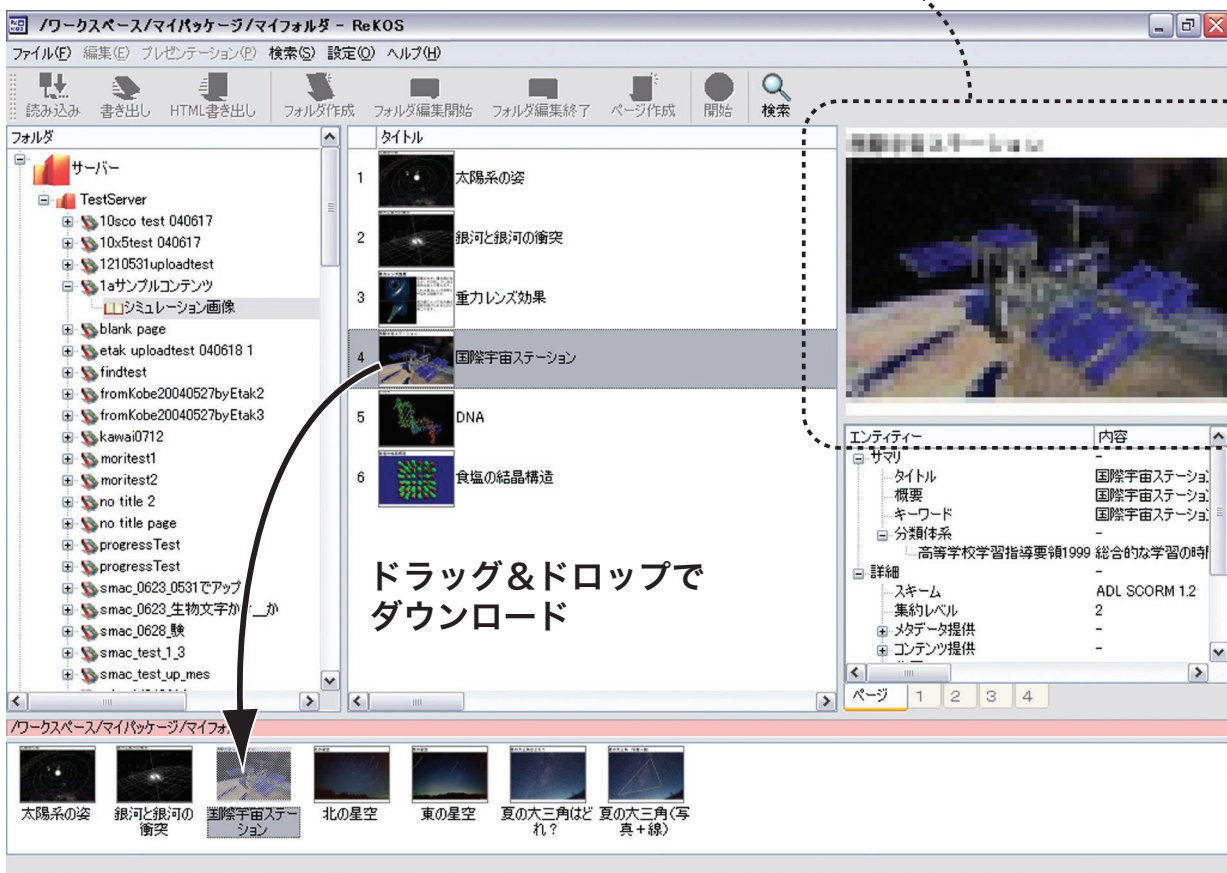
サーバーからコンテンツをダウンロードする

1 ワークスペース内のフォルダを編集状態にします。このフォルダの中にページやフォルダをダウンロードします。フォルダを編集状態にする方法については前述の「フォルダの編集」項目をご覧ください。




2 サーバー内のダウンロードしたいページやフォルダをリストビューから選択し、並べ替えエリアへドラッグ&ドロップして編集中のフォルダ内にダウンロードします。

サーバー内のページのプレビューは、リストビューで表示されているサムネイルをそのまま拡大した画像のため、粗い表示となっている。



※ 容量の大きなデータを含んだフォルダのダウンロードには長い時間がかかります。(ダウンロード時間はネットワーク環境により異なります)

サーバー参照を削除する

1 ツリービューのサーバーアイコンをクリックします。

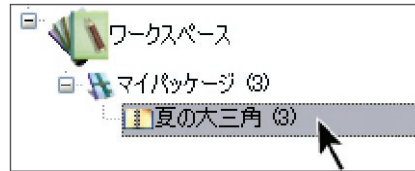
2 [ファイル]メニュー【A】またはサーバーを右クリックすると表示されるメニュー【B】から[サーバー参照の削除]を選択します。



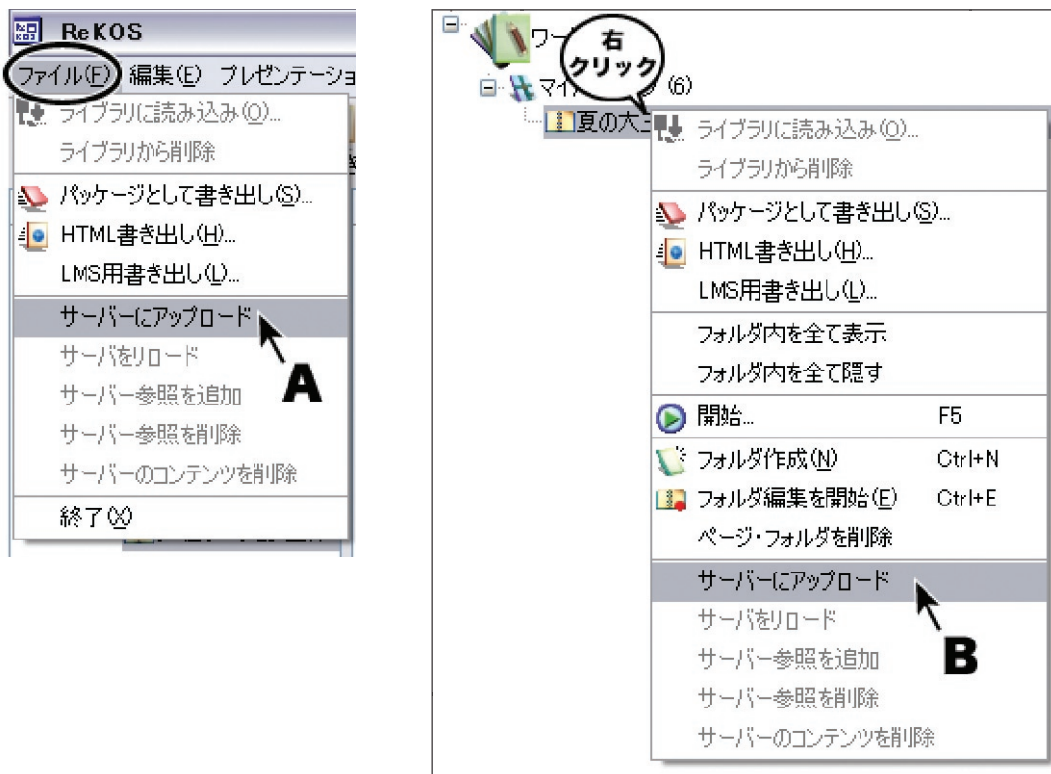
3 サーバー参照を削除する際には確認を求めるダイアログボックスが表示されるので、[OK]を選択して削除します。

13 サーバーにコンテンツをアップロードする

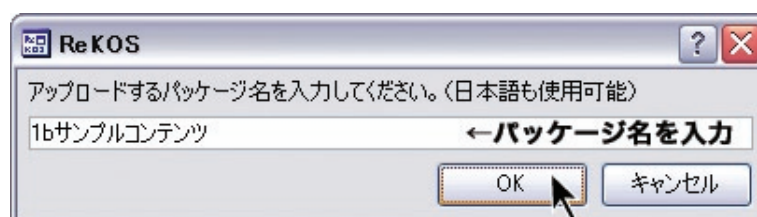
1 ツリービューで、ワークスペース内のサーバーにアップロードしたいフォルダを選択します。



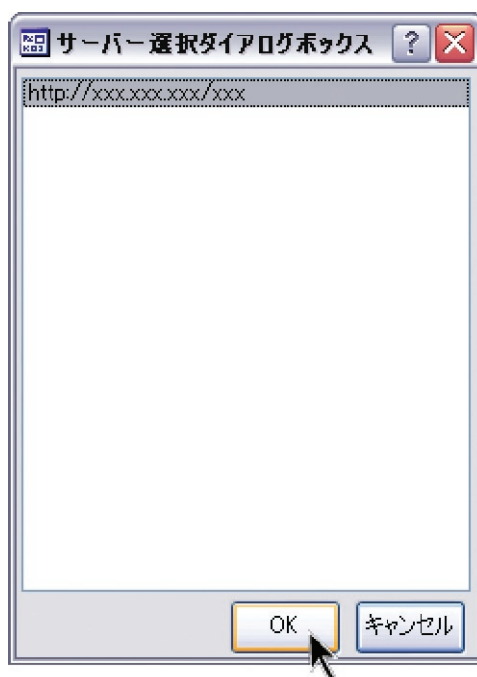
2 [ファイル]メニュー【A】またはフォルダを右クリックすると表示されるメニュー【B】から[サーバーにアップロード]を選択します。



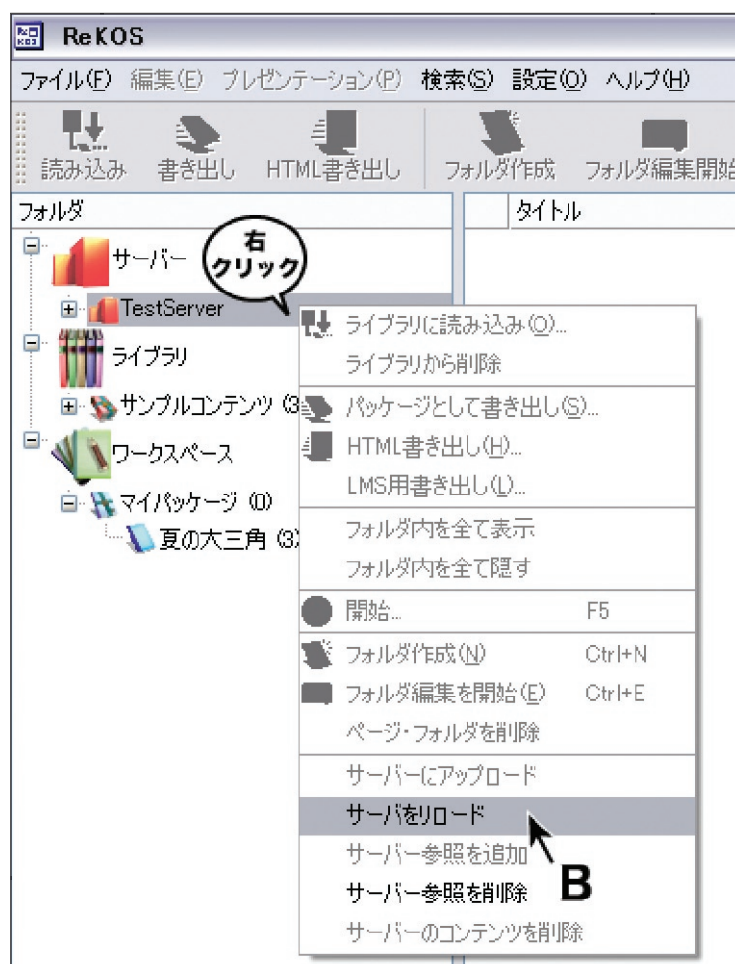
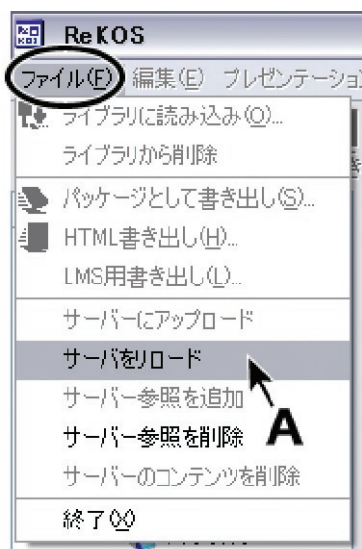
3 パッケージ名入力ダイアログでパッケージ名を入力して、[OK]をクリックします。サーバーにアップロードしたフォルダは、このパッケージの中に納められます。

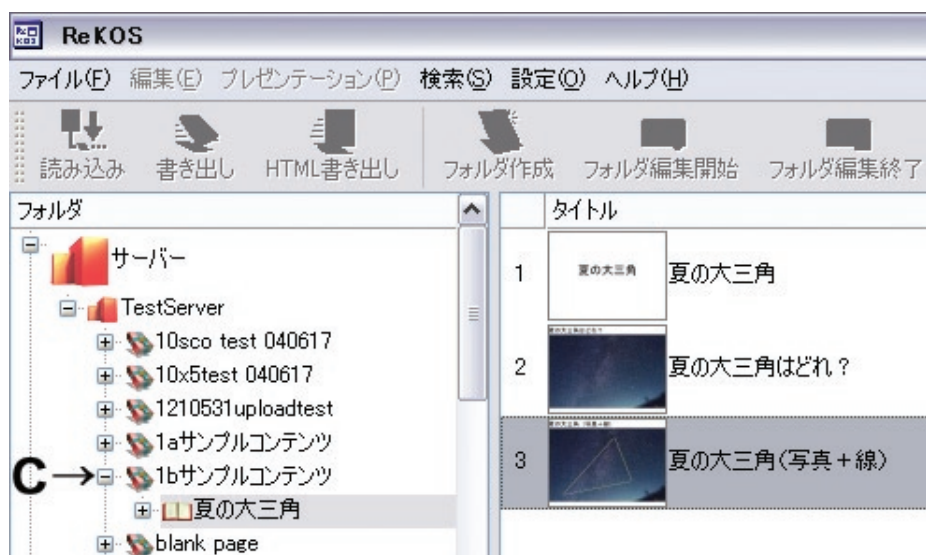


4 サーバー選択ダイアログで、アップロード先のサーバーを選択して [OK] をクリックします。



5 アップロード処理が行なわれ、処理が終了するとメッセージが表示されます。メッセージ表示後、しばらくたってから、サーバーアイコンを選択して、[ファイル]メニュー **A** またはサーバーアイコンを右クリックすると表示されるメニュー **B** から [サーバーをリロード] を選択すると、サーバー内のツリー表示が更新され、アップロードしたコンテンツがサーバーのツリービューに表示されます **C**。





※ アップロードしたコンテンツの登録が完了するまでにはサーバーの稼動状況によっては 10 分程度時間がかかることがあります。

6 現在のバージョンでは、アップロードしたコンテンツの編集、削除、名称変更を行うことはできません。ただし、サーバー管理者のみ、コンテンツの削除を行うことができます。サーバー内のコンテンツを削除する必要がある場合には、サーバー管理者にお問い合わせ下さい。

 サーバーにコンテンツをアップロードする、ということは、「完成したものを他者に公開し共有する」、あるいは本に例えると「出版する」というような意味合いもあります。公開や共有という性格上、著作権等の諸権利について問題がないか事前に確認して下さい。

